

高等学校におけるリスクや損害保険の教育に
関する実態調査 付録

2023年3月

一般社団法人 日本損害保険協会

目次

I. 回答者の属性	2
II. 調査結果.....	7

【本付録について】

- ・ 2021 年度に実施した『高等学校での「生活におけるリスク」および損害保険の教育に関する調査』と 2022 年度に実施した『高等学校におけるリスクや損害保険の教育に関する実態調査』の同様の設問において比較可能なものを掲載している。

【本付録におけるグラフの見方】

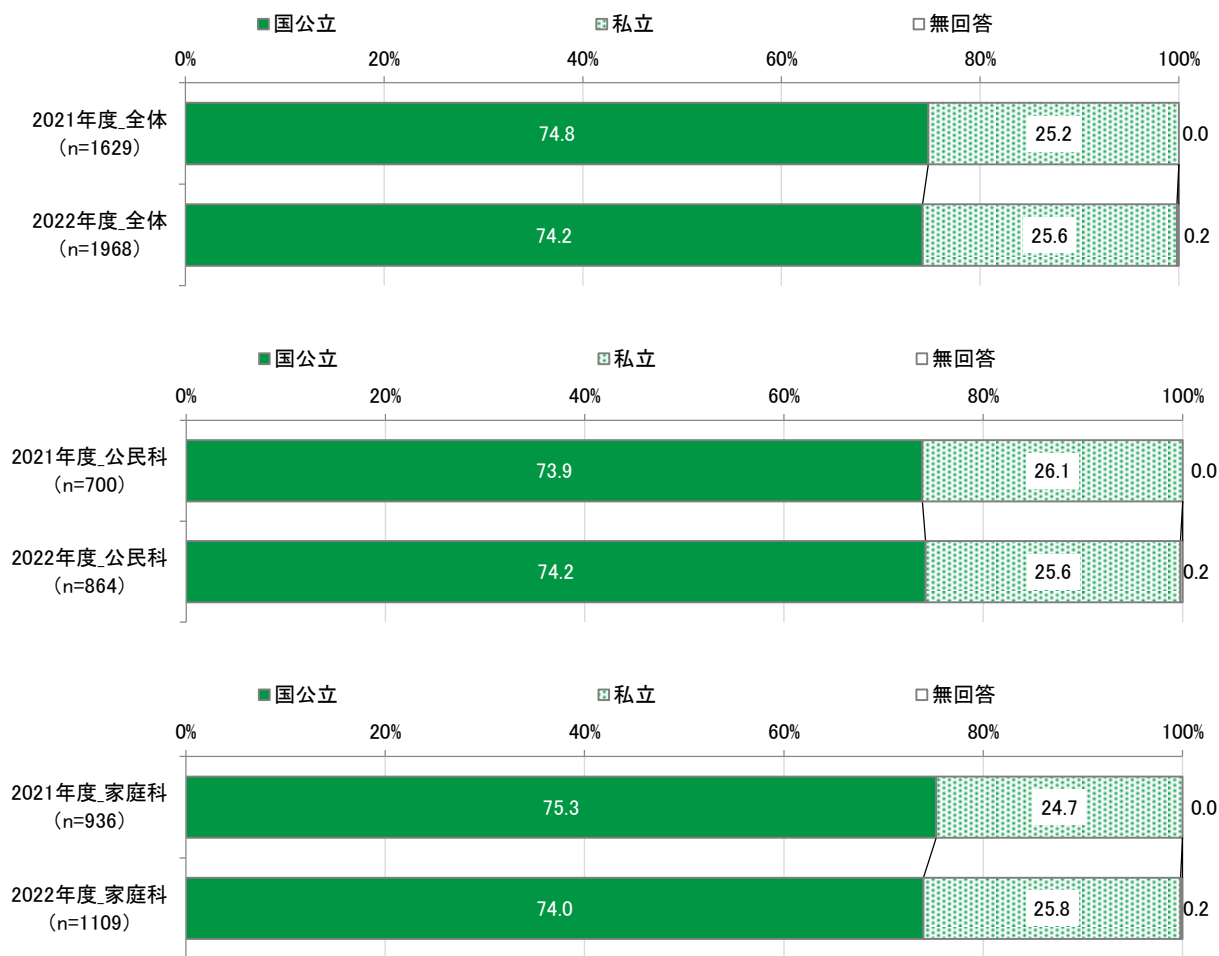
- ・ 本付録のグラフの数値は、各設問回答者の割合、構成比をパーセントで表示しており、四捨五入による表示のため、単数回答項目の回答割合の合計が 100%にならない場合(99%、101%等)がある。
- ・ 複数回答の設問においては、選択肢を 2 つ以上回答している場合もあるため、回答割合の合計が 100%を超える場合がある。
- ・ 本グラフでは、調査票の選択肢を一部簡略化又は省略している場合がある。
- ・ 回答数が少ない場合(30 未満)は、誤差が大きくなることから参考値として扱う。
- ・ 「無回答／不明」の扱い

2021 年度に実施した『高等学校での「生活におけるリスク」および損害保険の教育に関する調査』、2022 年度に実施した『高等学校におけるリスクや損害保険の教育に関する実態調査』は郵送／インターネット・自記入式調査であるため、記入忘れを後から聞きなおすことは出来ない。また、回答者がすべての設問への回答ができない場合もあり、「無回答／不明」がある程度存在している。

I. 回答者の属性

※設問番号は 2022 年度を記載している。

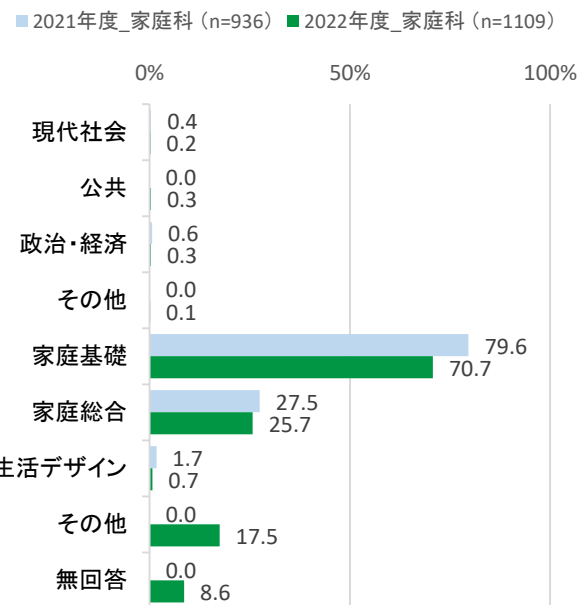
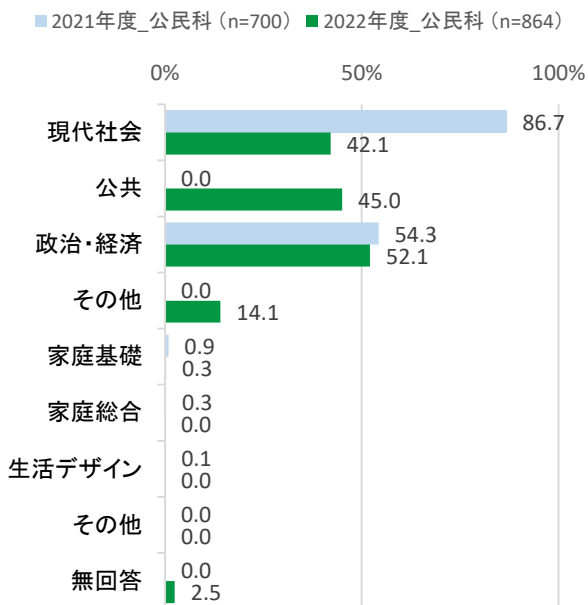
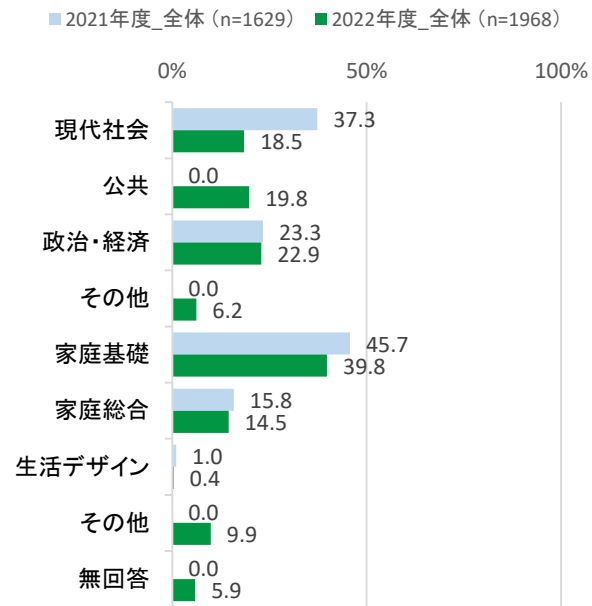
F2. 学校区分



F3. 課程・学科区分

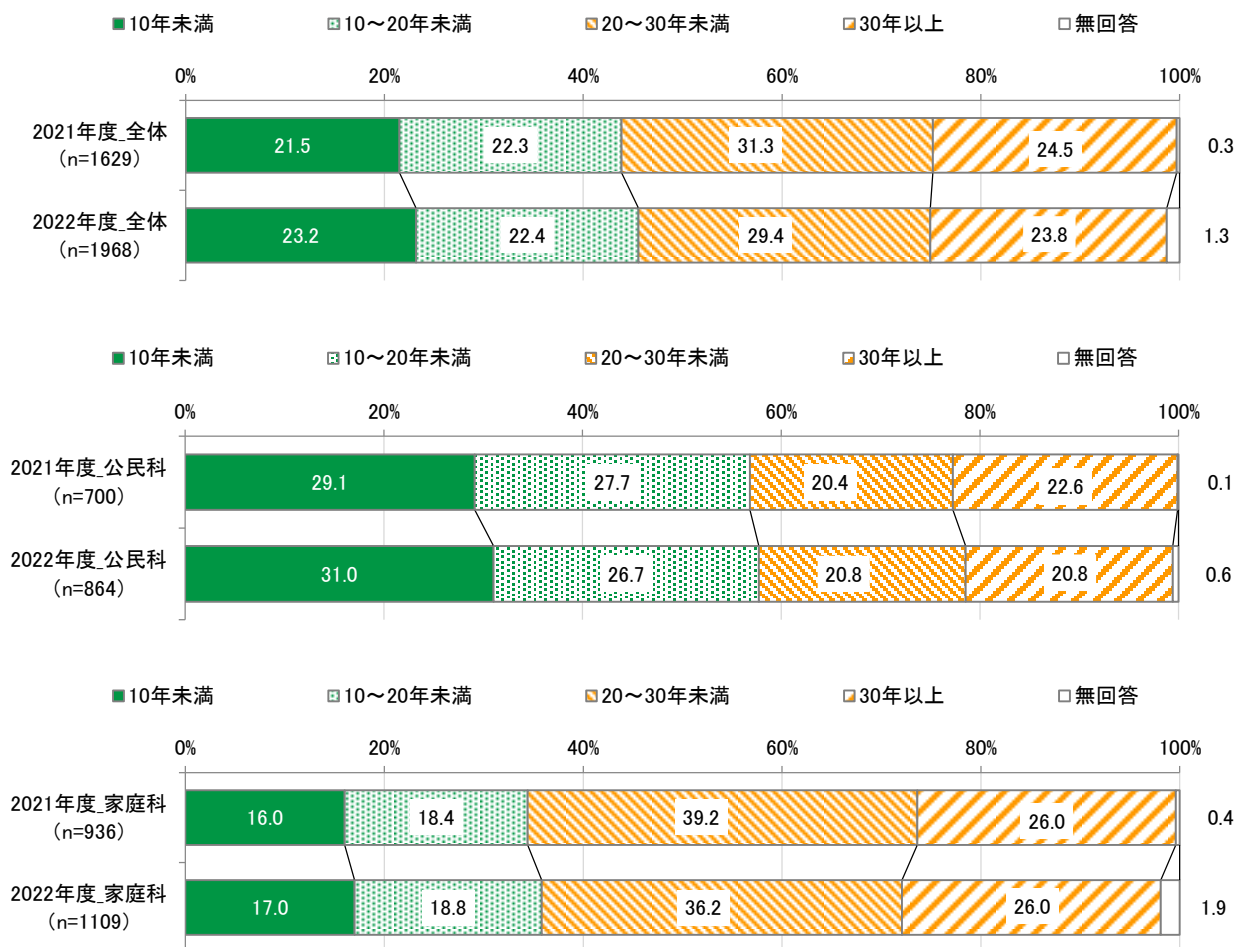


F4. 担当教科・科目



※「公共」「その他」は、2022年度の調査のみの選択肢である。

F5. 教職員歴



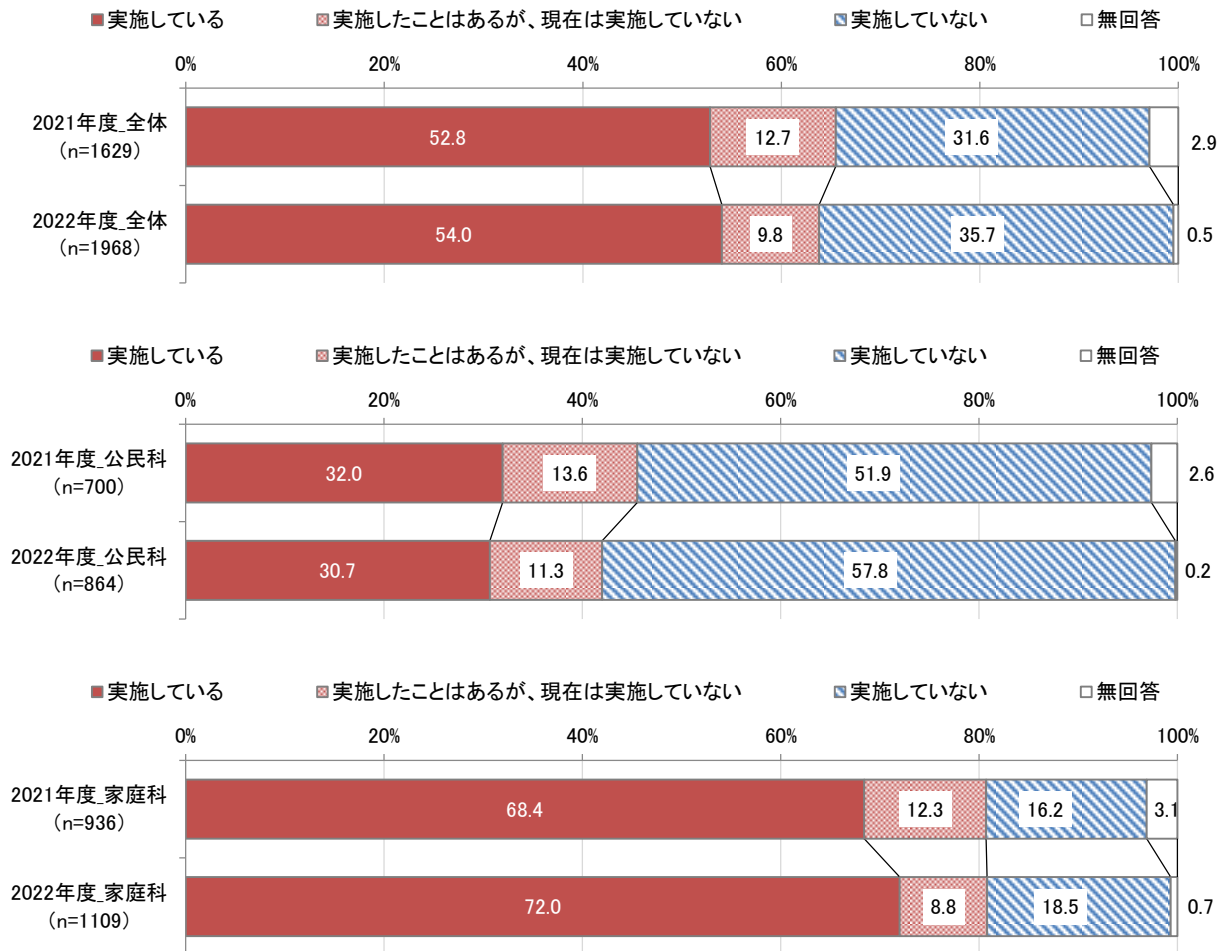
Ⅱ. 調査結果

※設問番号は 2022 年度を記載している。

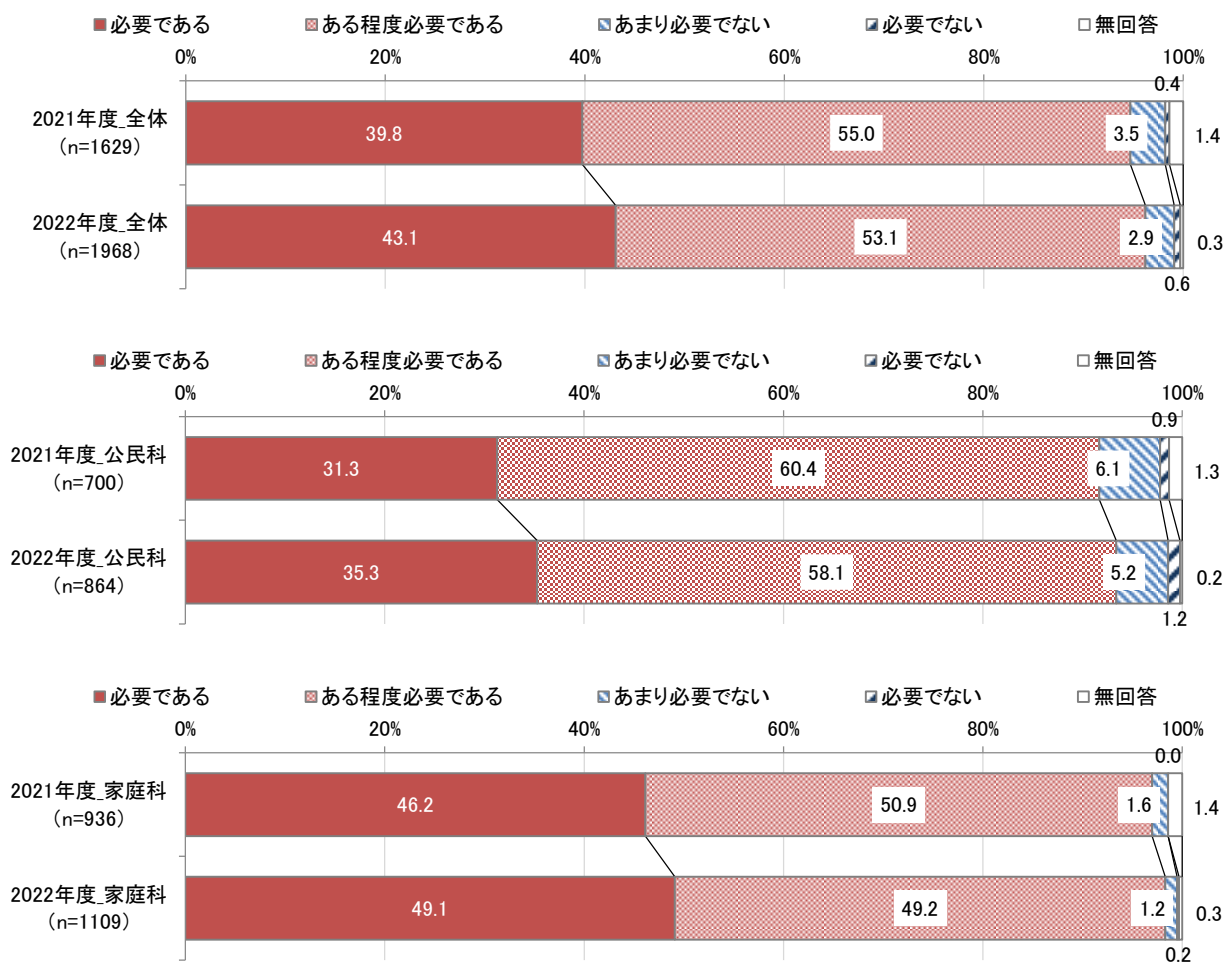
1. 金融経済教育に関する教育の実施状況について

問 2. 令和 4 年度において、「生活におけるリスク」に関する教育^(*)を実施(予定含む)していますか。

*1 本調査における「生活におけるリスク」とは、事故、病気、失業や災害などの生活上直面するリスクのことを指します。



問 3. 授業で「生活におけるリスク」に関する教育について、どのようにお考えですか。



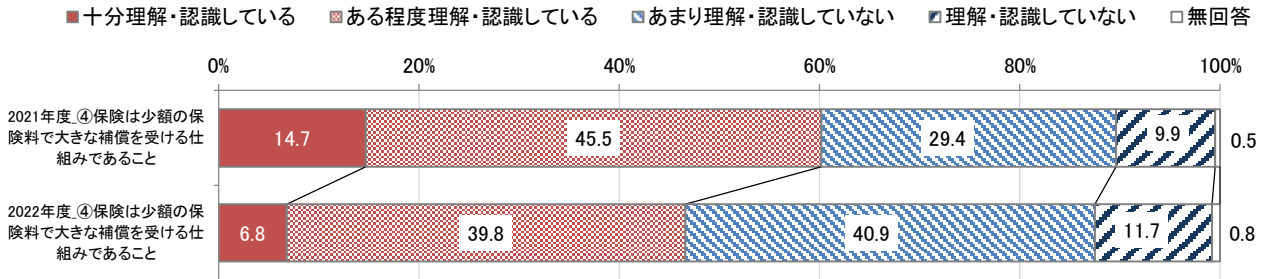
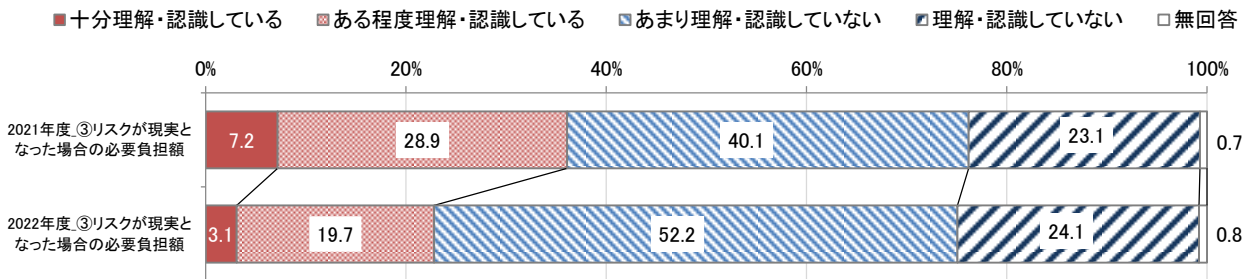
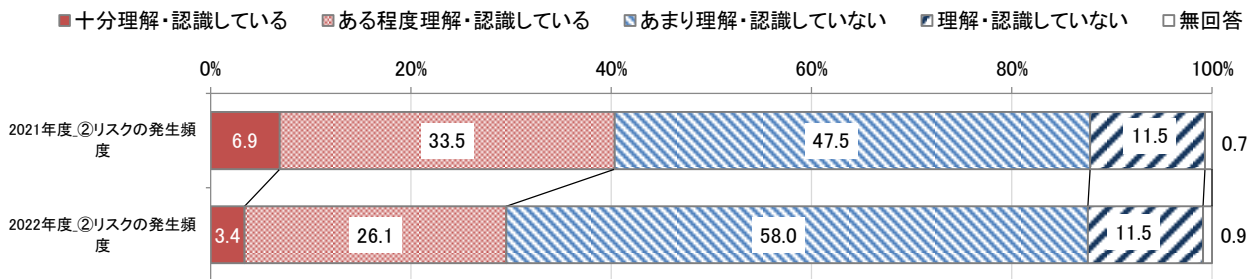
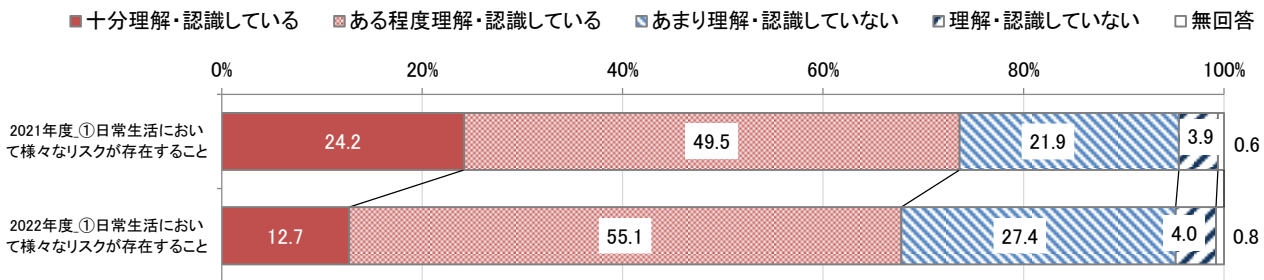
2. リスクや損害保険に関する理解・認識について

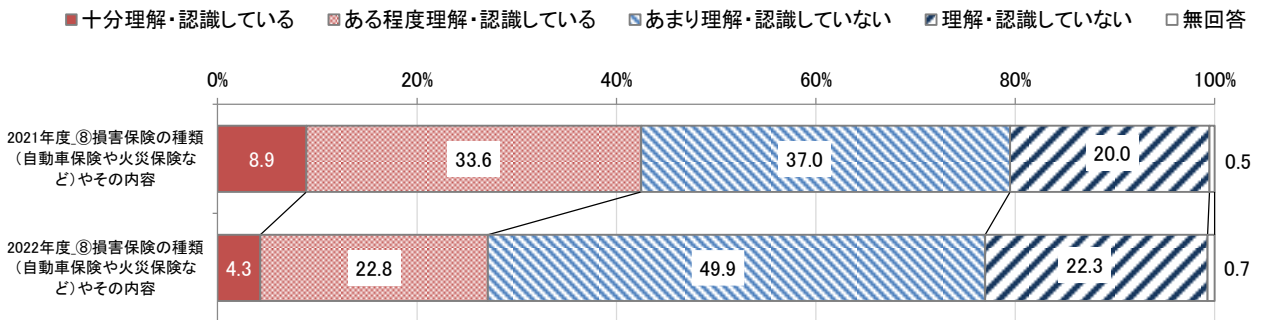
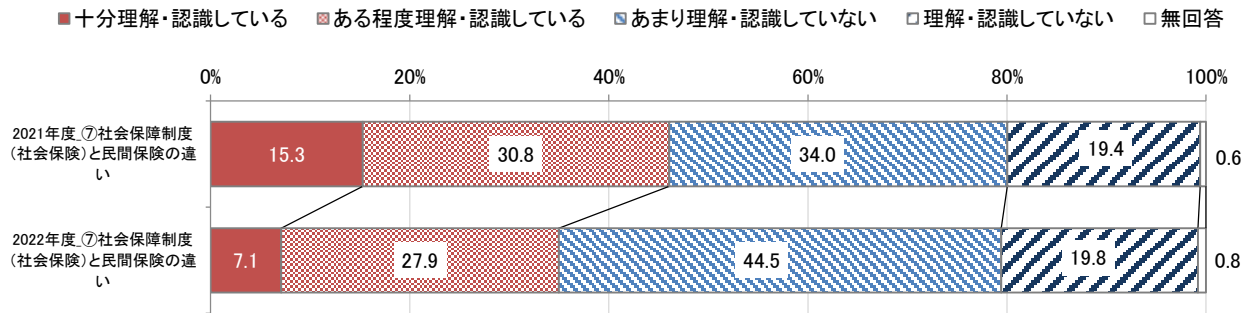
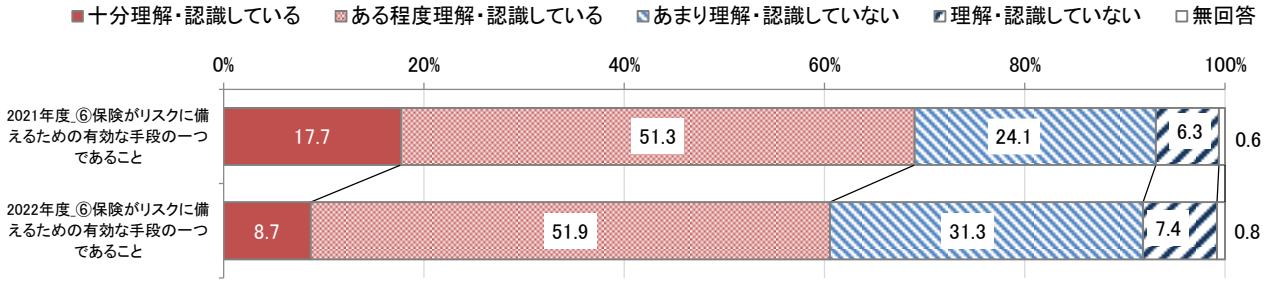
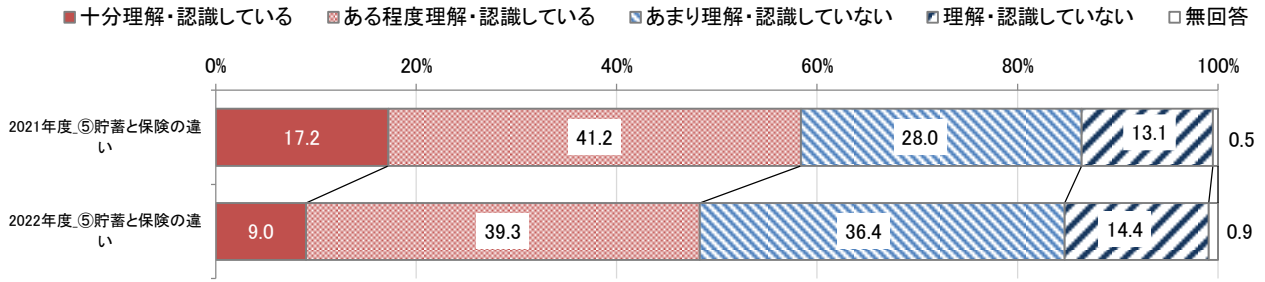
問 4. 生徒はリスクや損害保険に関する以下の事項について理解・認識があるとお考えですか。

<全体>

上段:2021年度(n 数=1629)

下段:2022年度(n 数=1968)

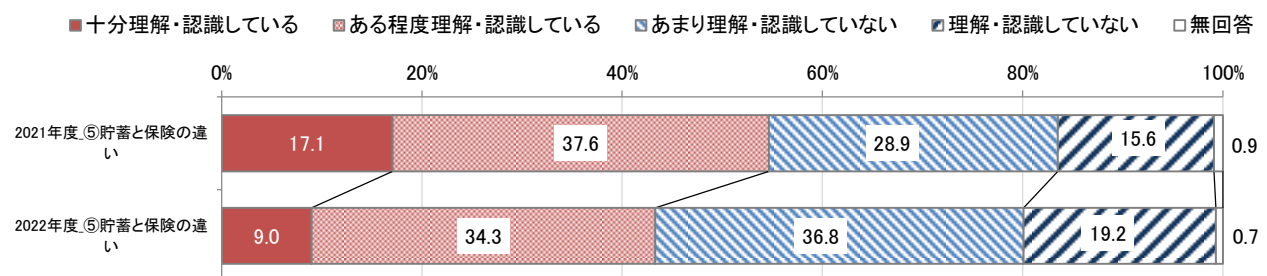
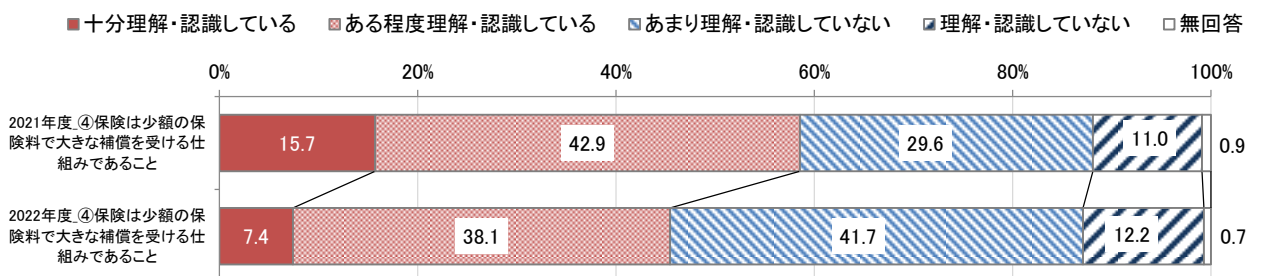
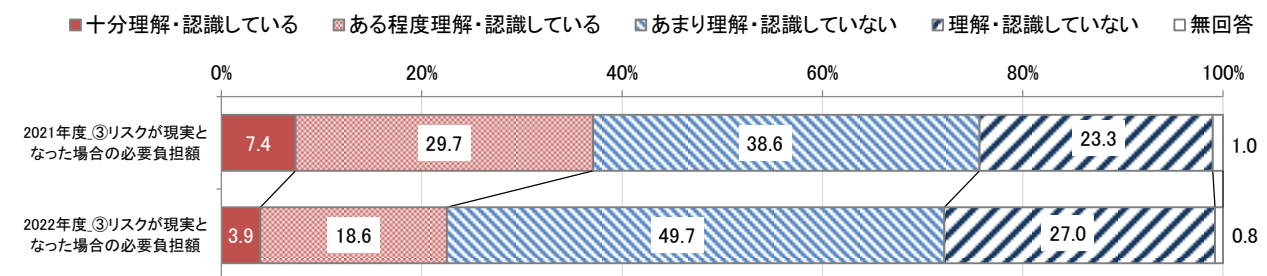
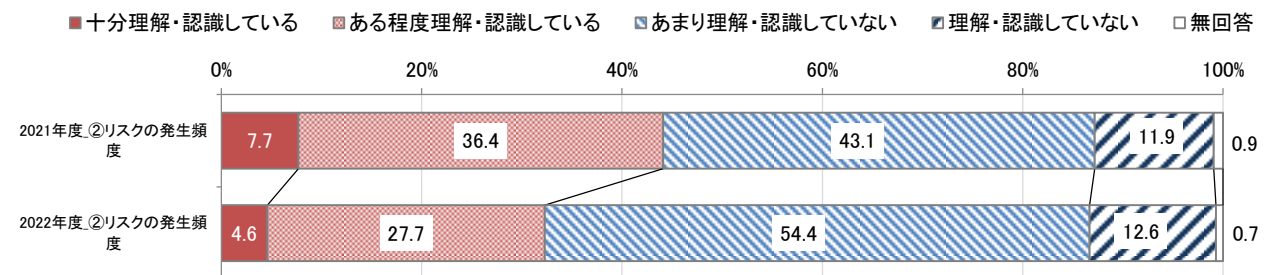
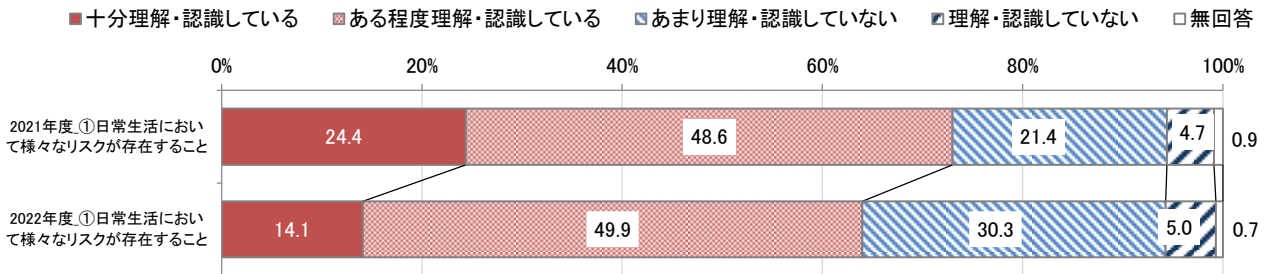


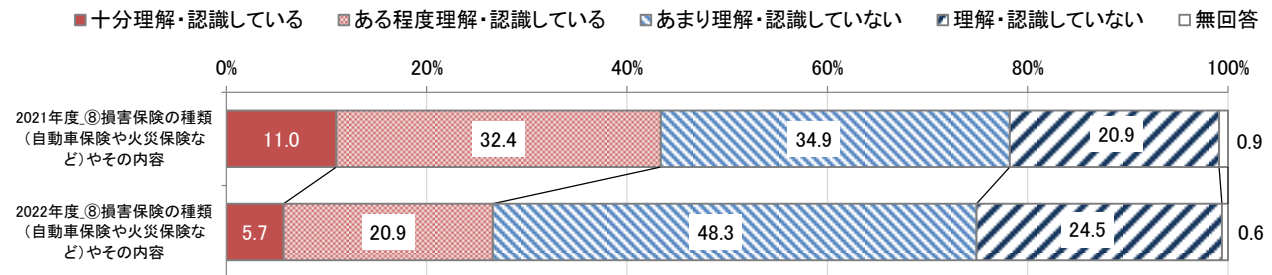
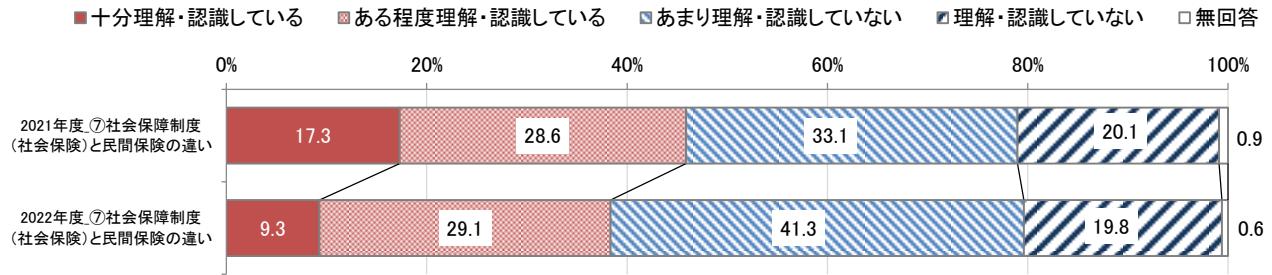
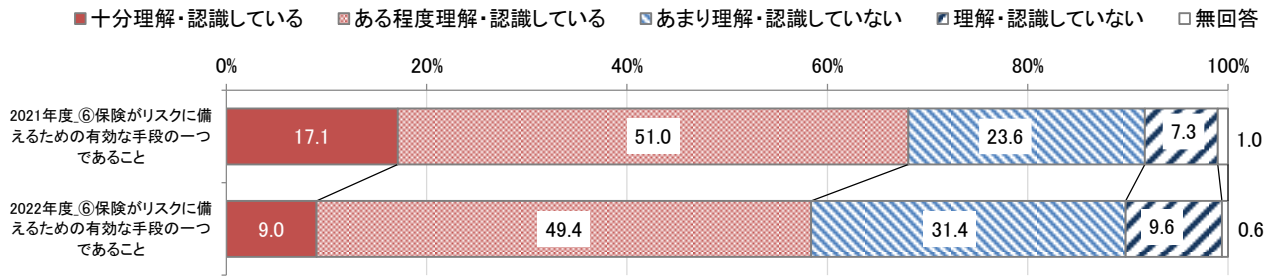


<公民科>

上段:2021年度(n数=700)

下段:2022年度(n数=864)

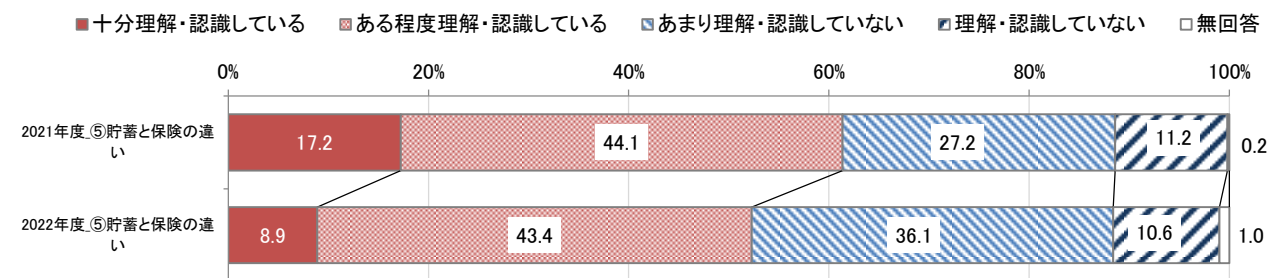
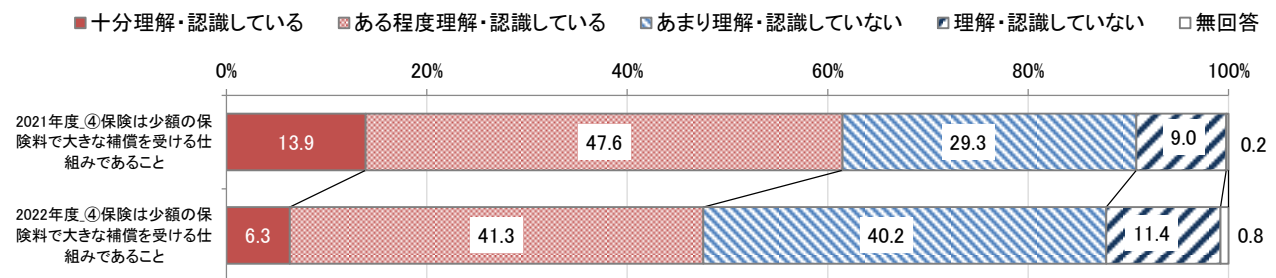
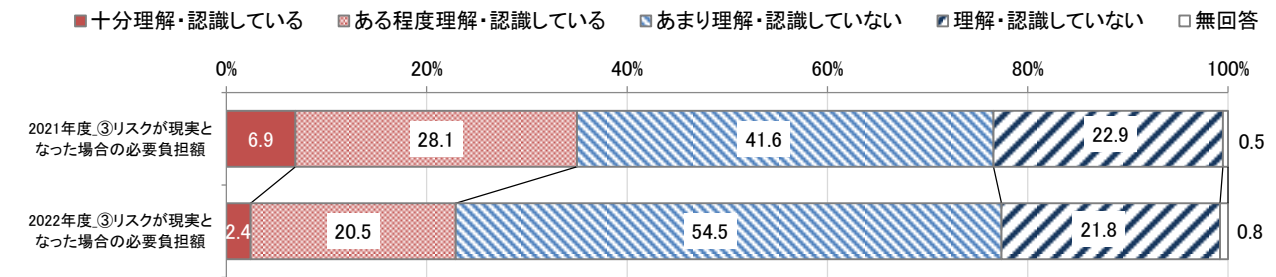
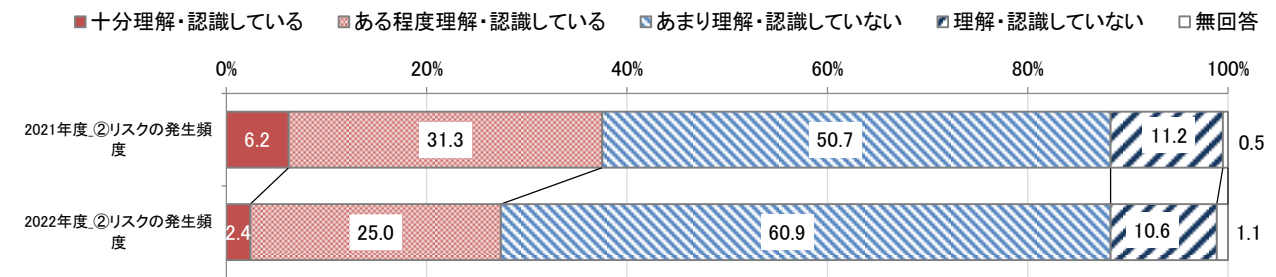
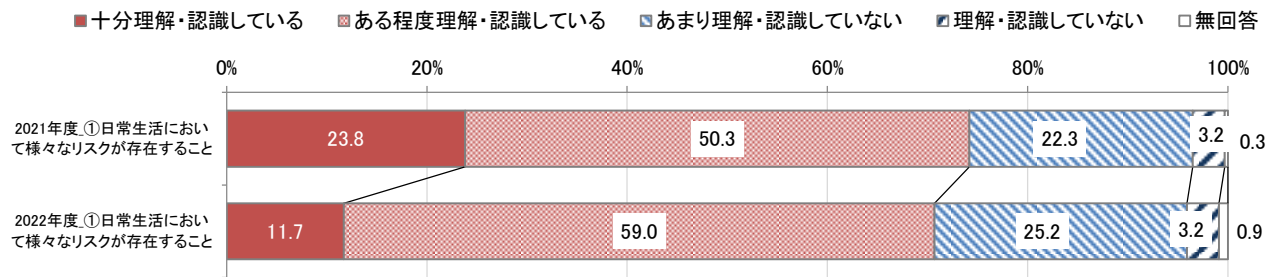


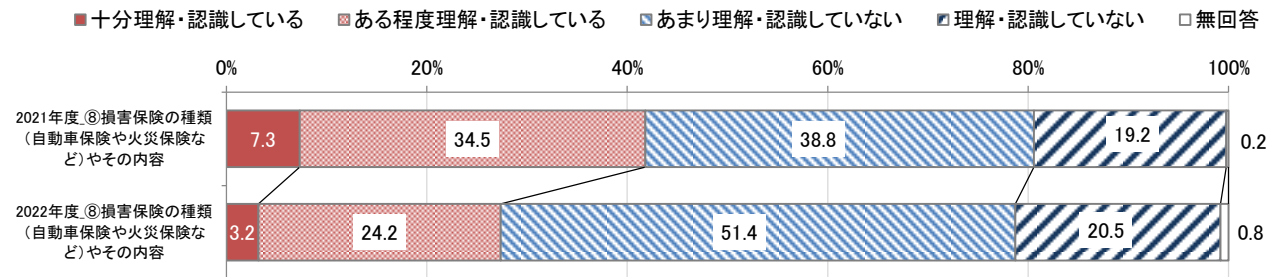
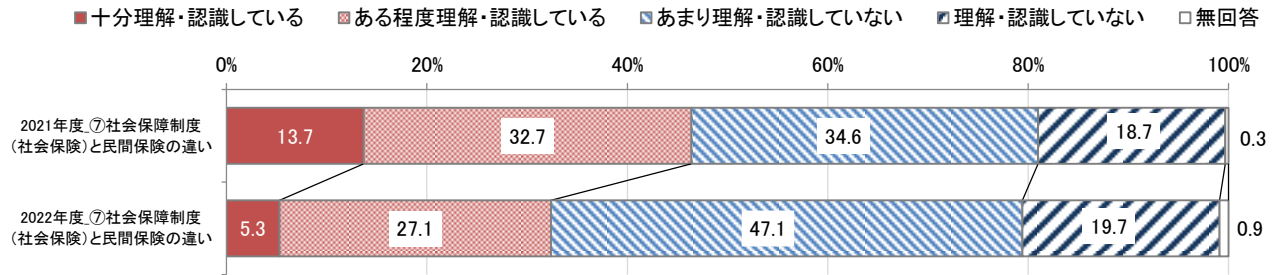
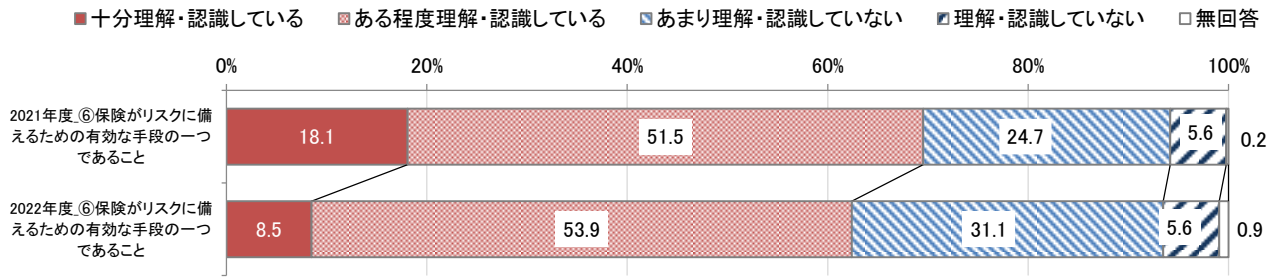


・家庭科

上段:2021年度(n数=936)

下段:2022年度(n数=1109)

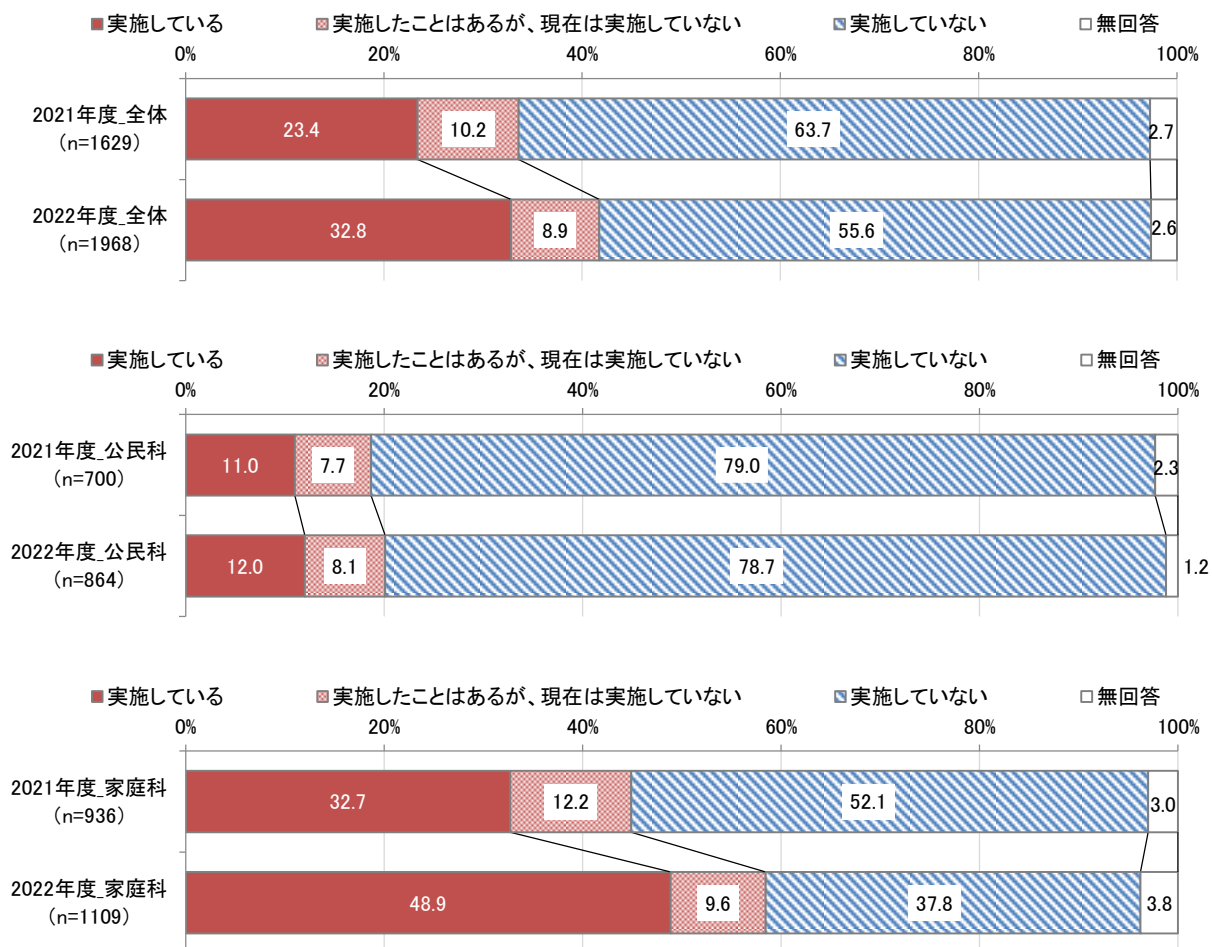




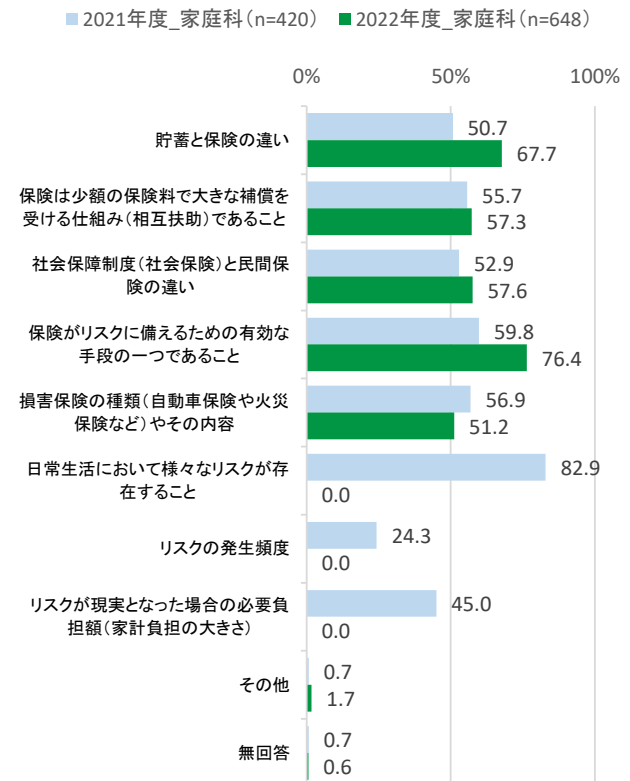
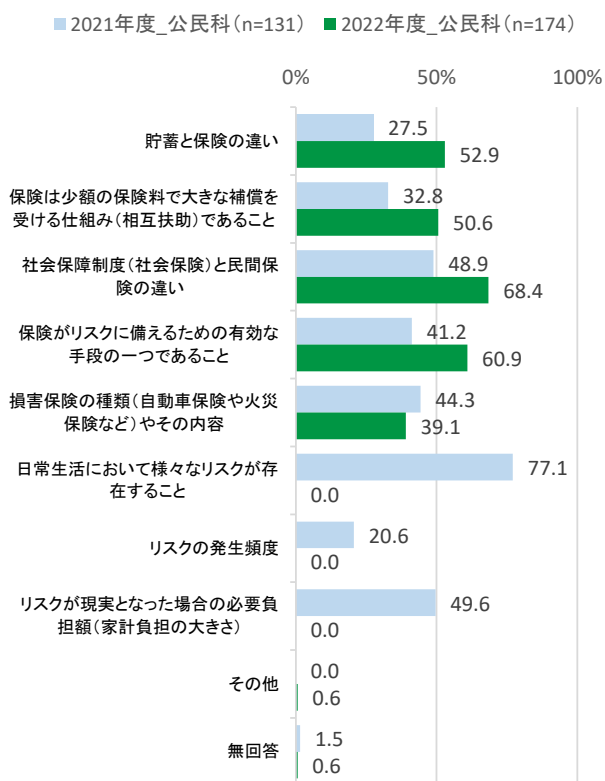
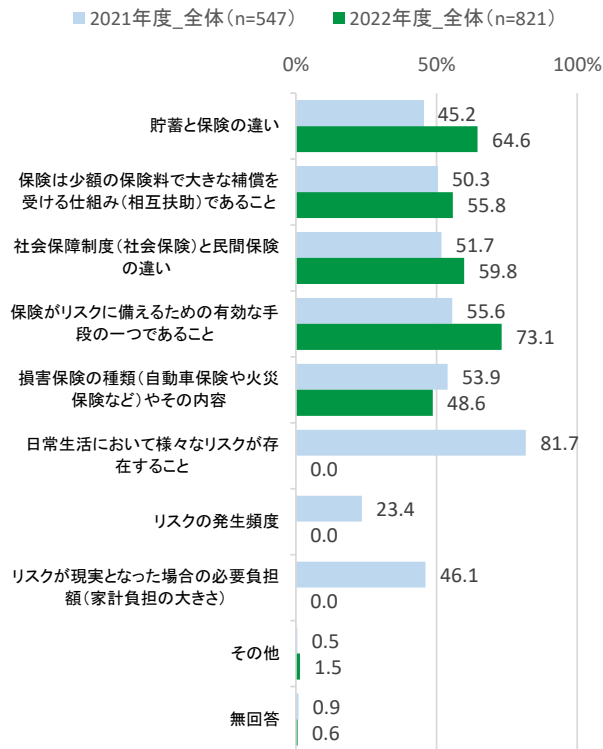
3. 損害保険に関する教育の実施状況について

問 5. 令和 4 年度において、損害保険に関する教育^(*2)を実施(予定含む)していますか。

*2 本調査における損害保険に関する教育・授業とは、「生活におけるリスク」への経済的な備えとして損害保険があることやその損害保険の内容について教育または授業を行うことを指します。



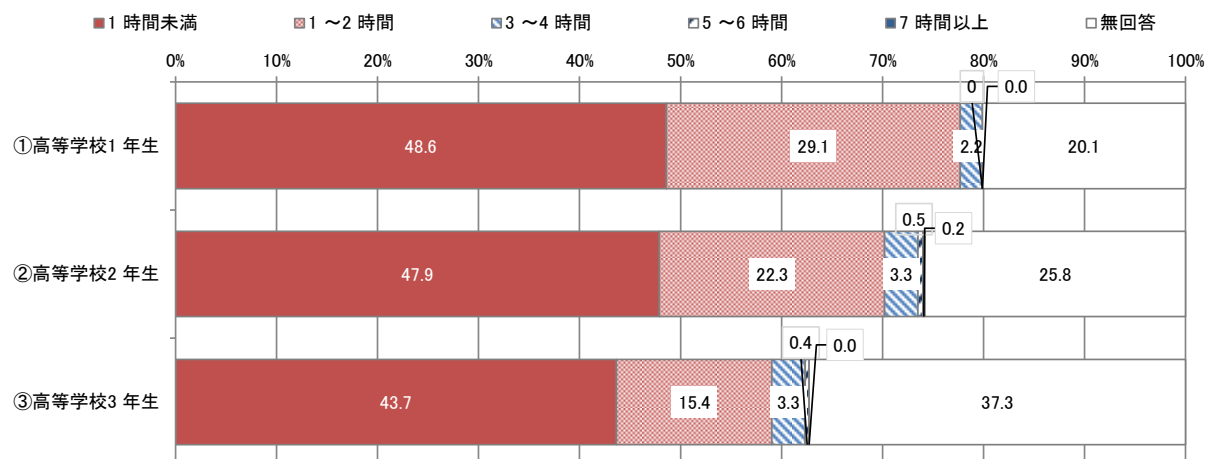
問 5-1. 損害保険に関する授業はどのような内容ですか。



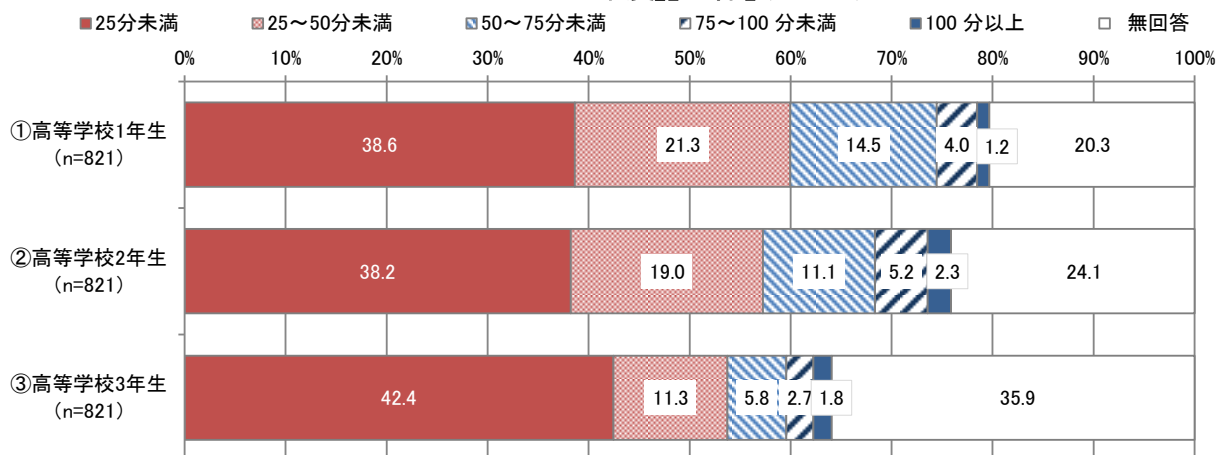
※「日常生活において様々なリスクが存在すること」「リスクの発生頻度」「リスクが現実となった場合の必要負担額(家計負担の大きさ)」は、2021年度の調査のみの選択肢である。

問 5-2. 損害保険に関する年間の授業実施時間はどの程度ですか。学年ごとにご回答ください。

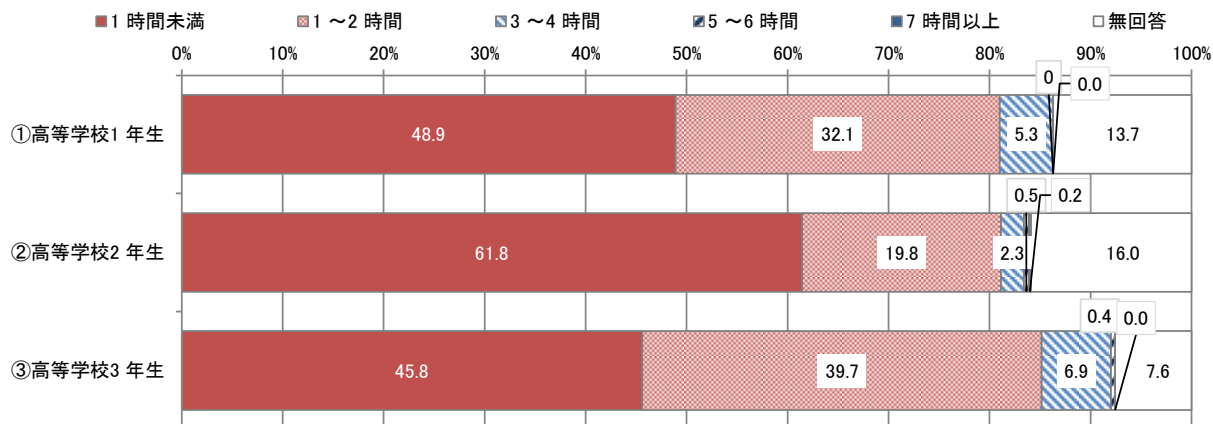
2021年度【全体】(n=547)



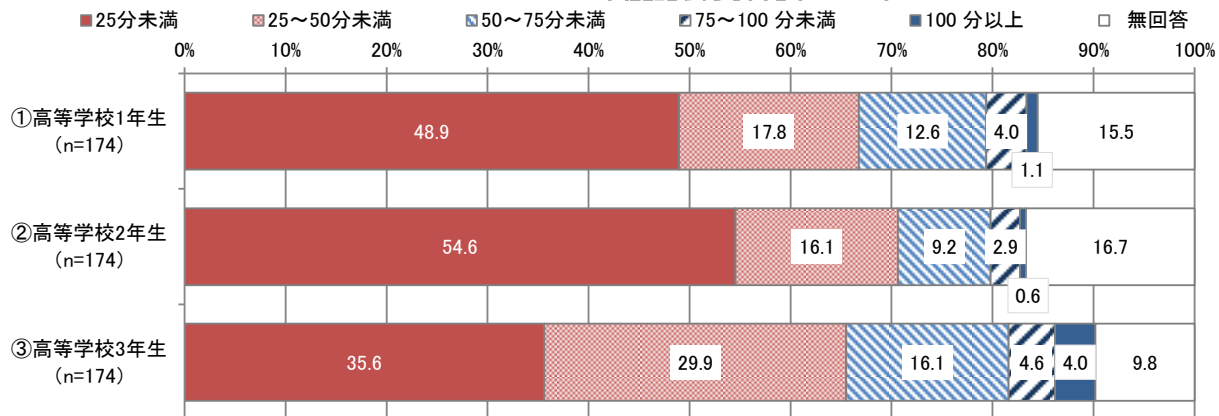
2022年度【全体】(n=821)



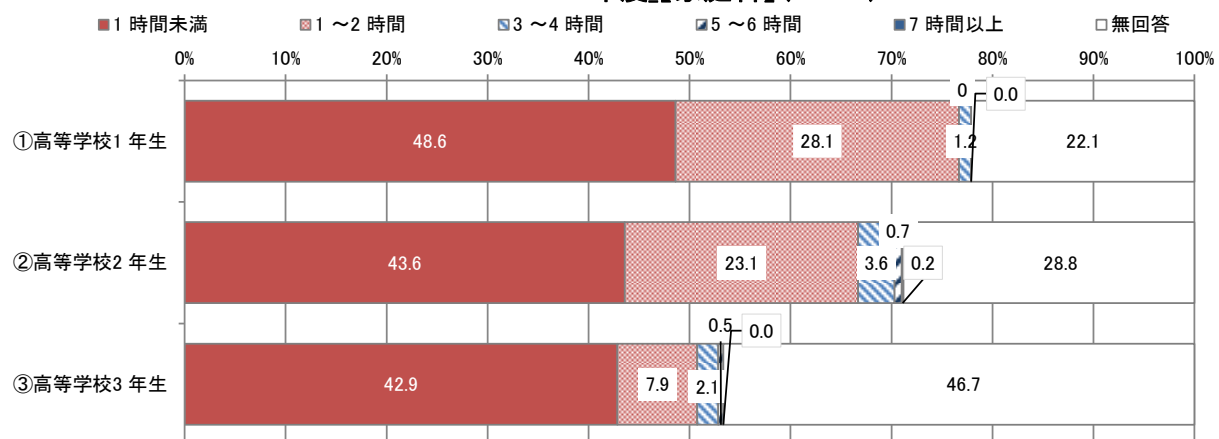
2021年度【公民科】(n=131)



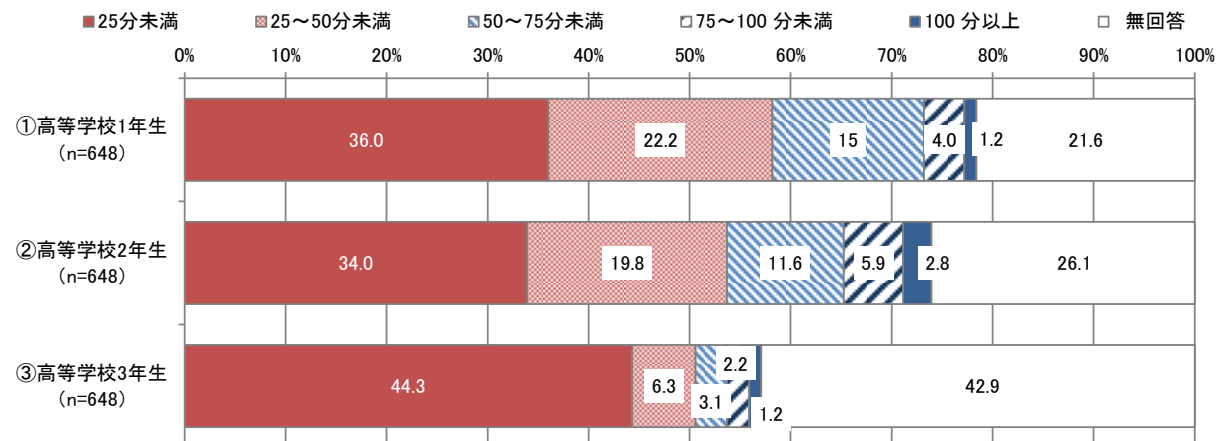
2022年度【公民科】(n=174)



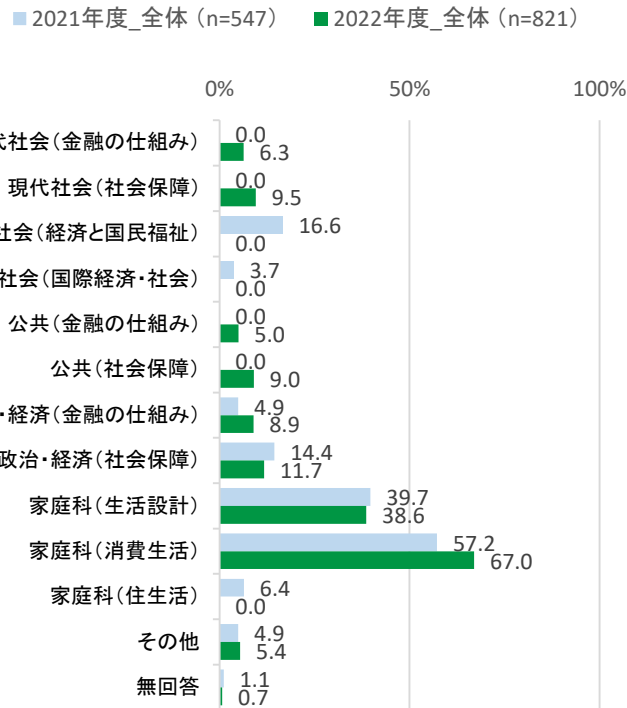
2021年度【家庭科】(n=420)



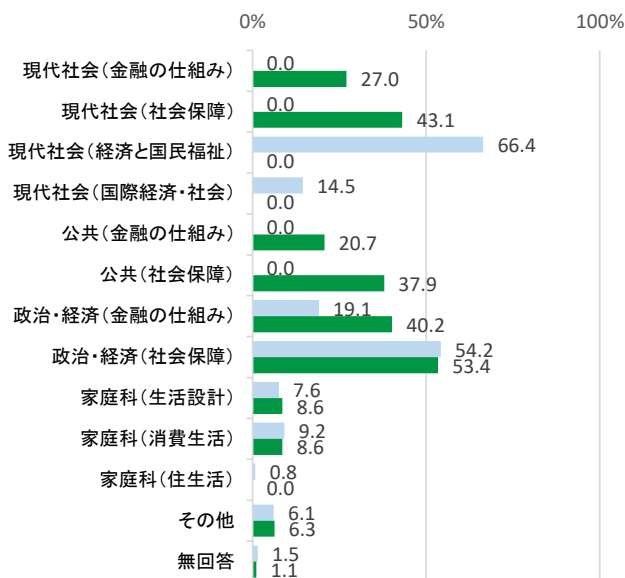
2022年度【家庭科】(n=648)



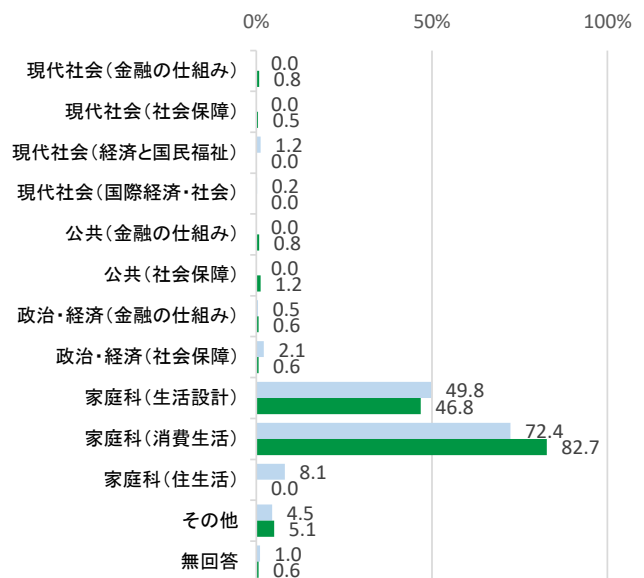
問 5-3. 損害保険に関する授業を実施している場合、どの単元で実施していますか。



■ 2021年度_公民科 (n=131) ■ 2022年度_公民科 (n=174)



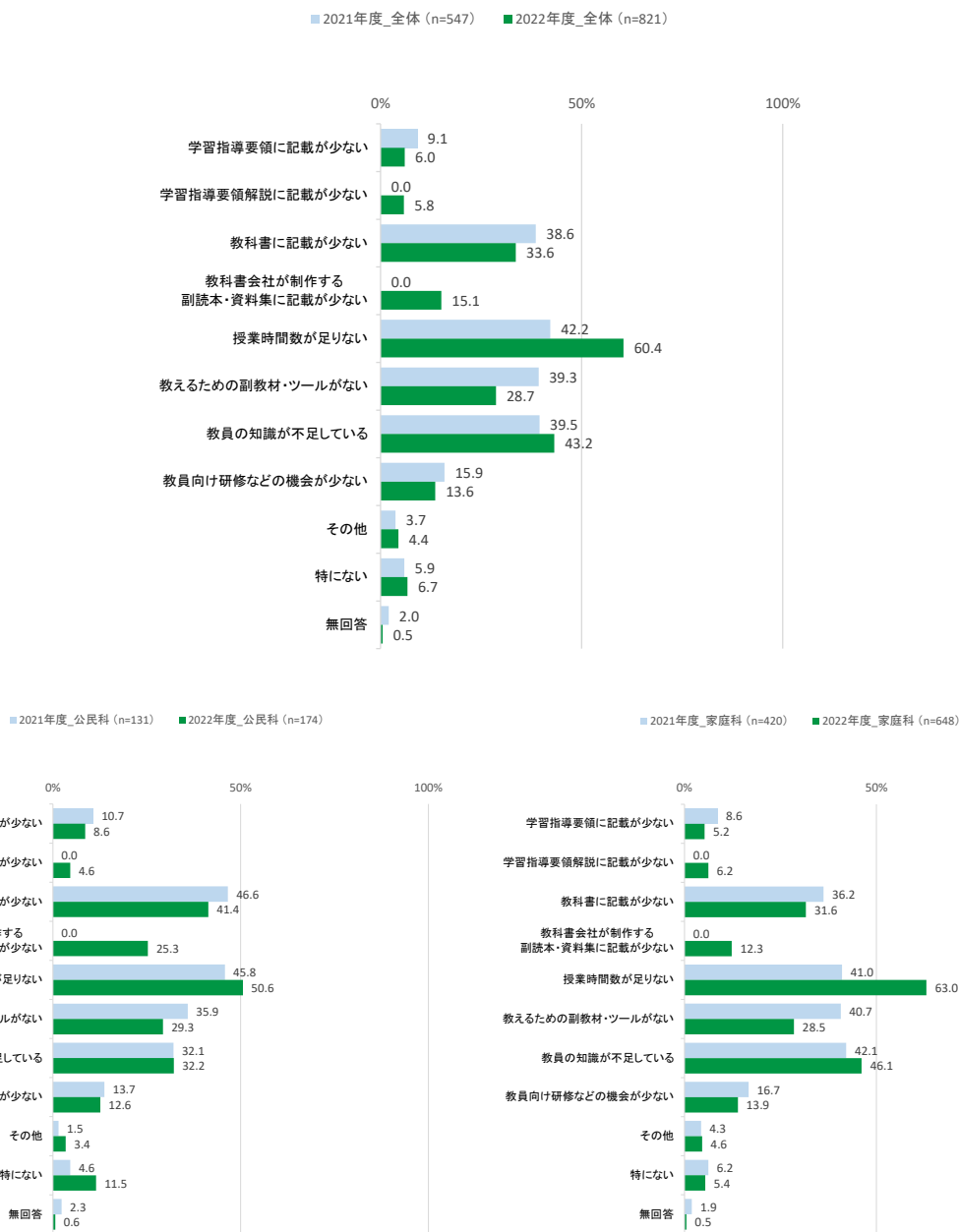
■ 2021年度_家庭科 (n=420) ■ 2022年度_家庭科 (n=648)



※「現代社会(金融の仕組み)」「現代社会(社会保障)」「公共(金融の仕組み)」「公共(社会保障)」は、2022年度の調査からの選択肢である。

※「現代社会(経済と国民福祉)」「現代社会(国際経済・社会)」「家庭科(住生活)」は、2021年度の調査のみの選択肢である。

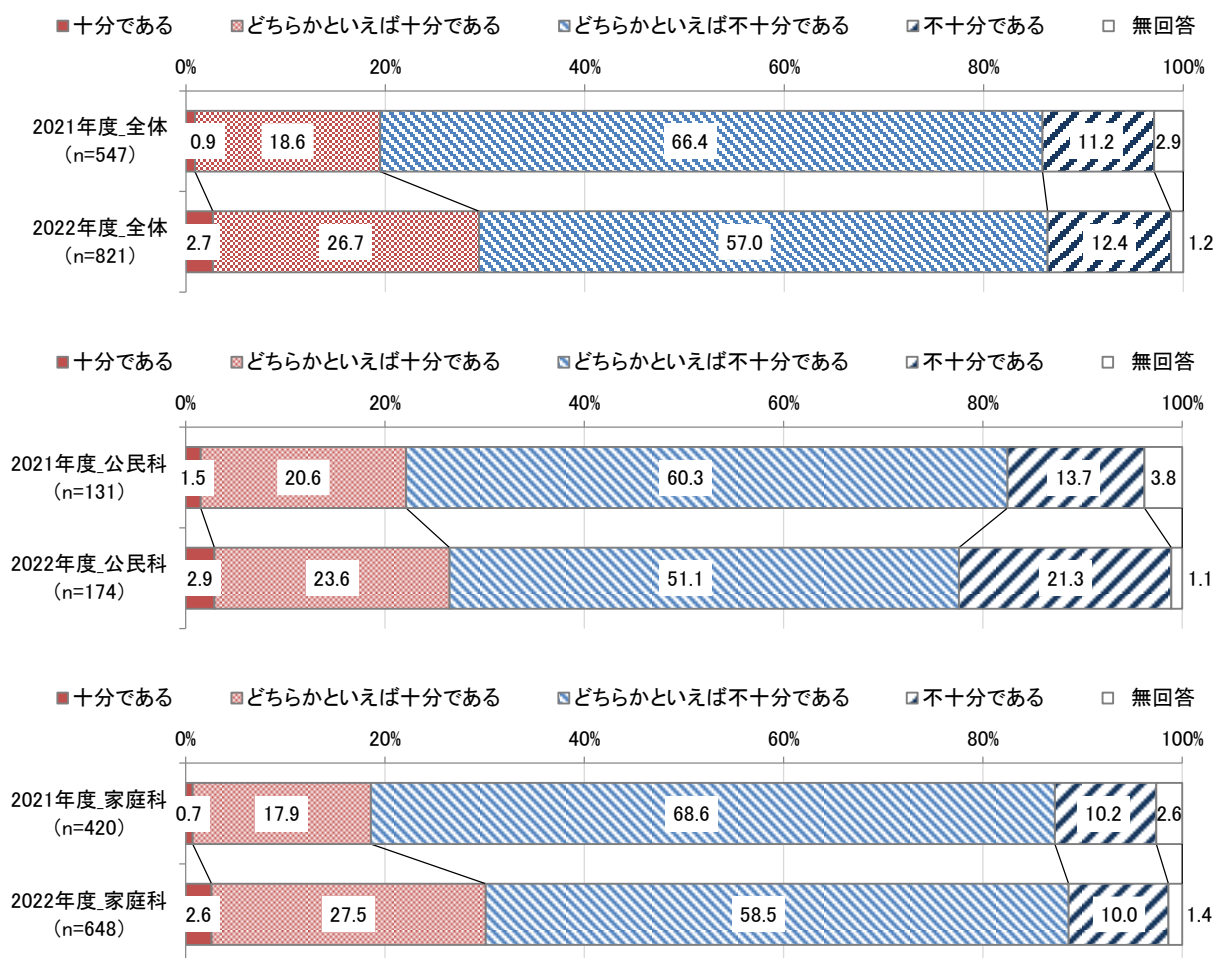
問 6. 損害保険に関する授業を実施する際に課題と感ずることはありますか。



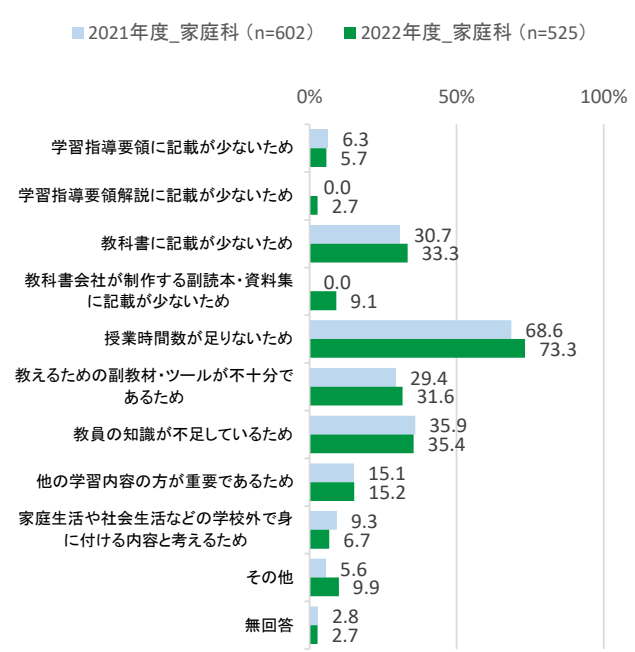
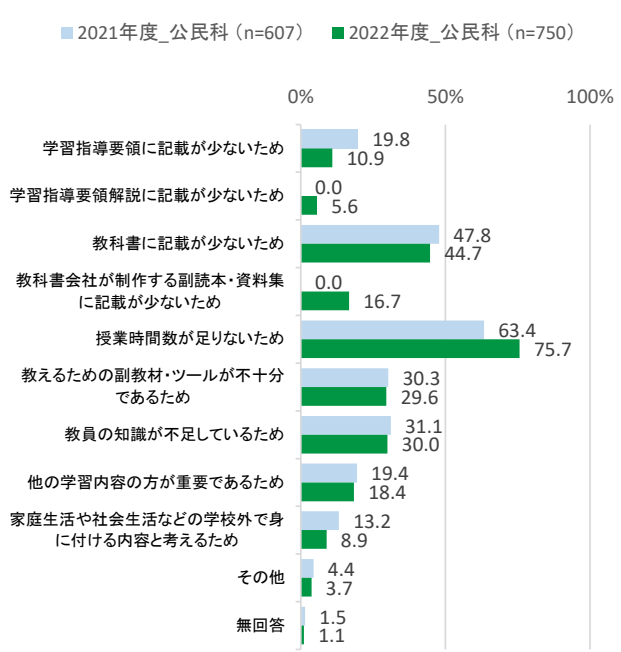
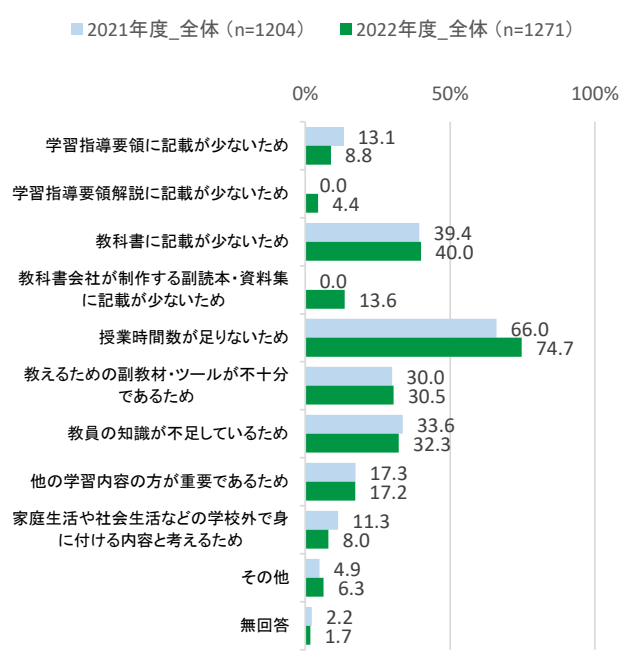
※「学習指導要領解説に記載が少ない」「教科書会社が制作する副読本・資料集に記載が少ない」は、2022年度の調査のみの選択肢である。

問 7-1. 損害保険に関する授業を行うにあたって、以下の教材は十分な内容が記載されていると思いますか。最も授業で損害保険を取扱う時間の長い教科についてお答えください。

①(教科書)

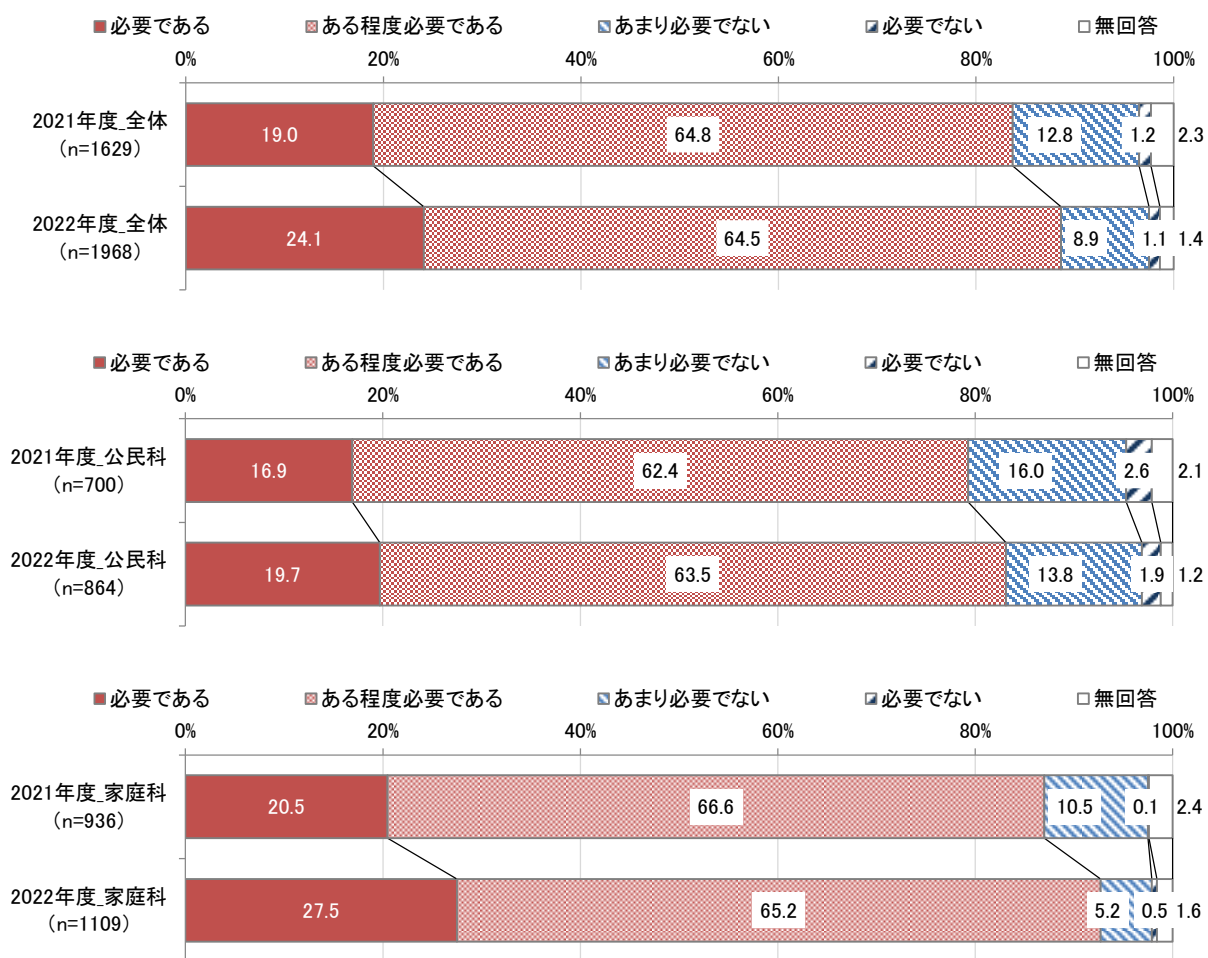


問 8. 損害保険に関する教育を現在実施していない、または実施したことがない理由をお聞かせください。

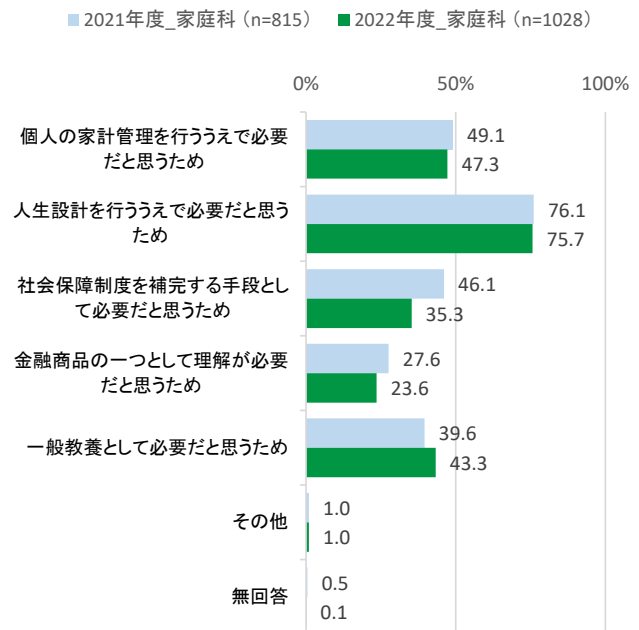
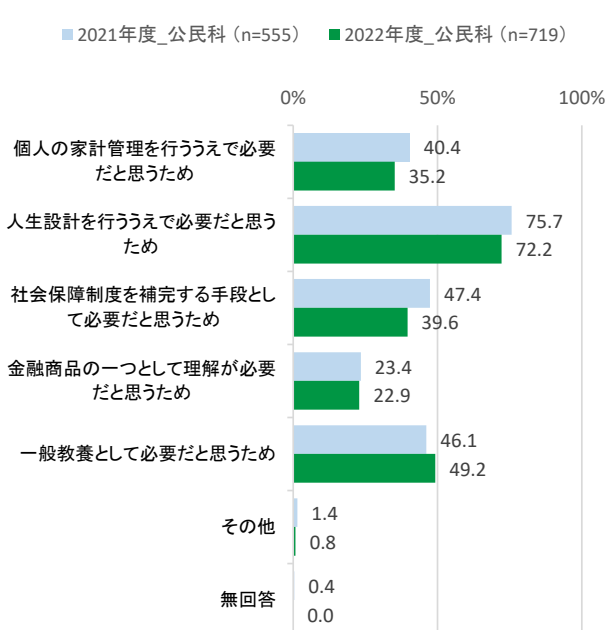
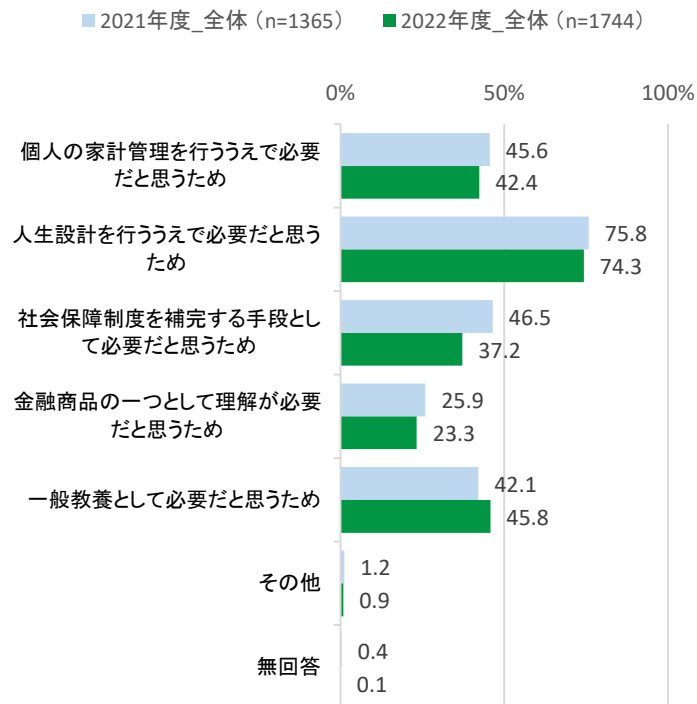


※「学習指導要領解説に記載が少ないため」「教科書会社が制作する副読本・資料集に記載が少ないため」は、2022年度の調査のみの選択肢である。

問 9. 授業で損害保険に関する教育を行うことについてどのようにお考えですか。

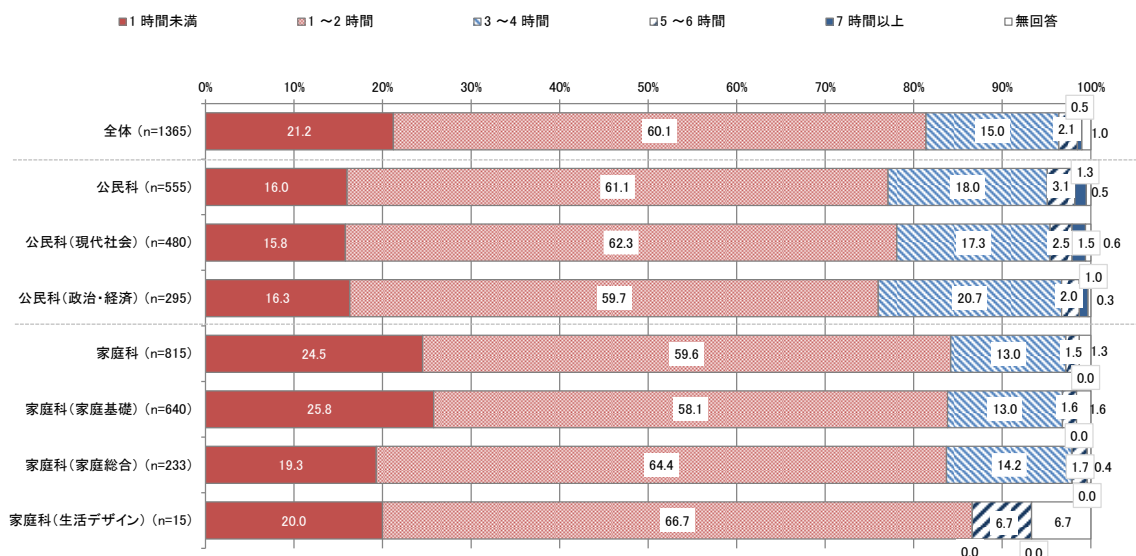


問 9-1. 損害保険に関する教育が必要と考える理由をお聞かせください。

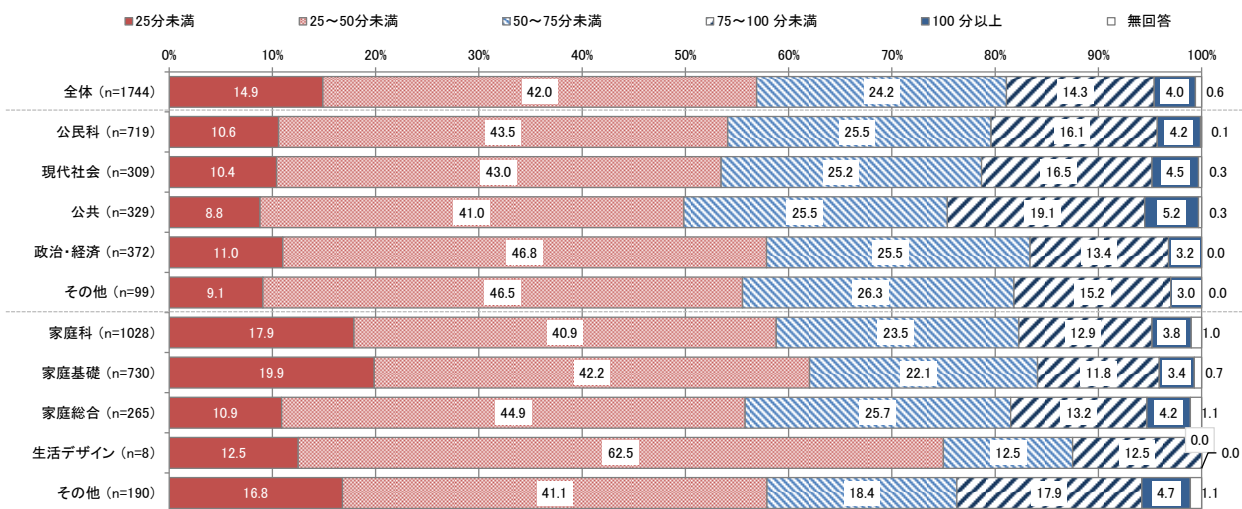


問 9-2. 損害保険に関する教育について、年間の授業時間はどの程度必要だとお考えですか。

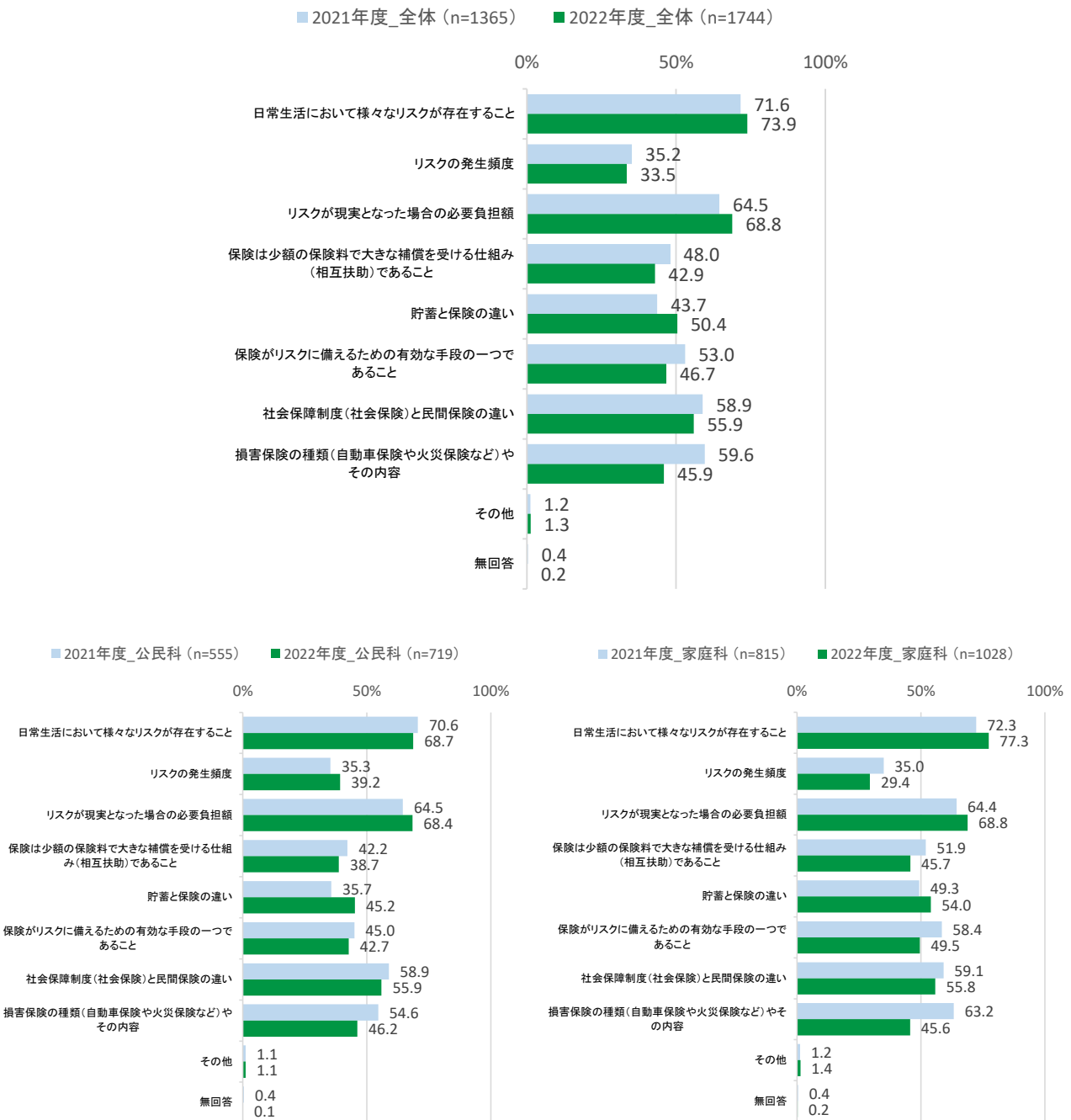
2021年



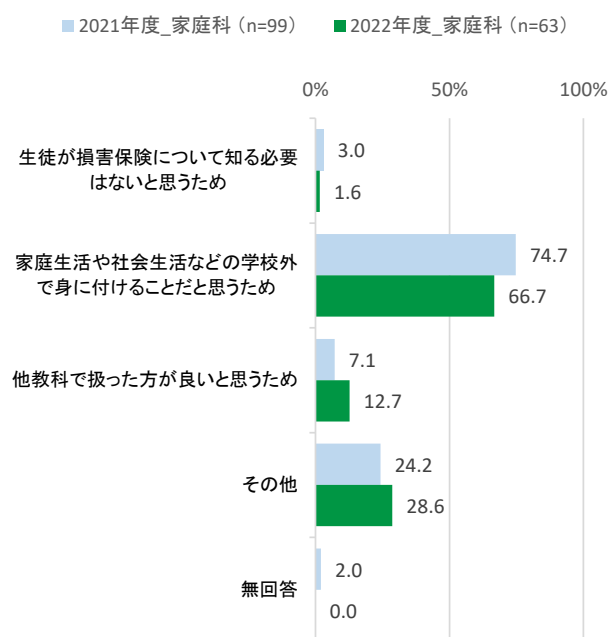
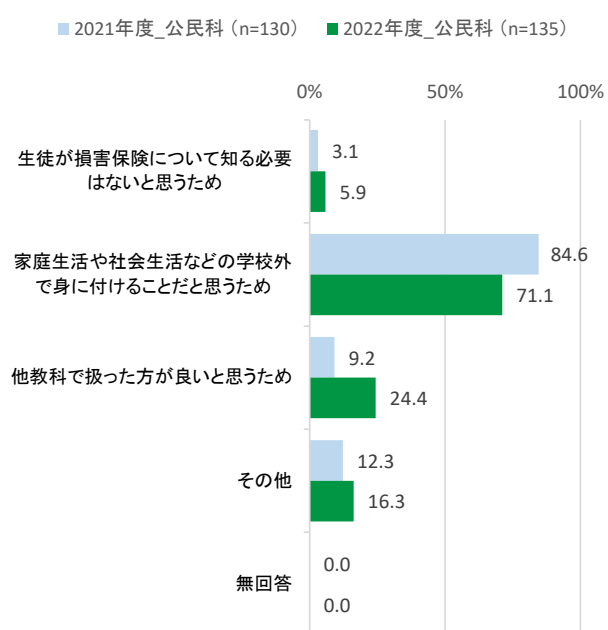
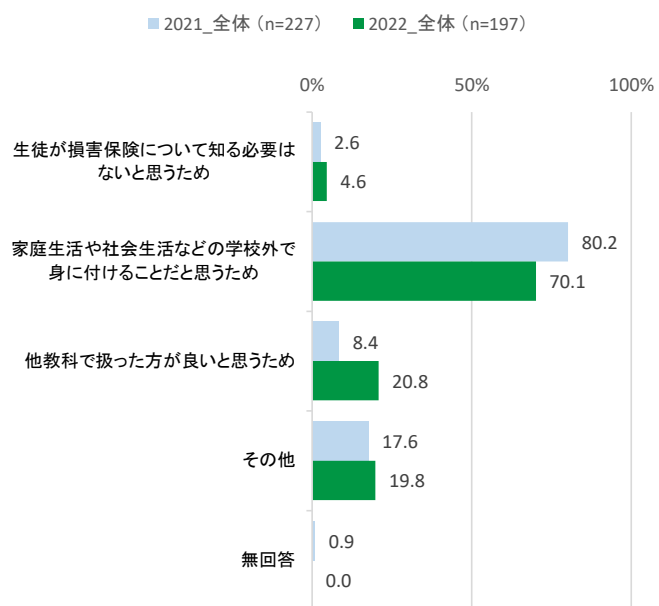
2022年



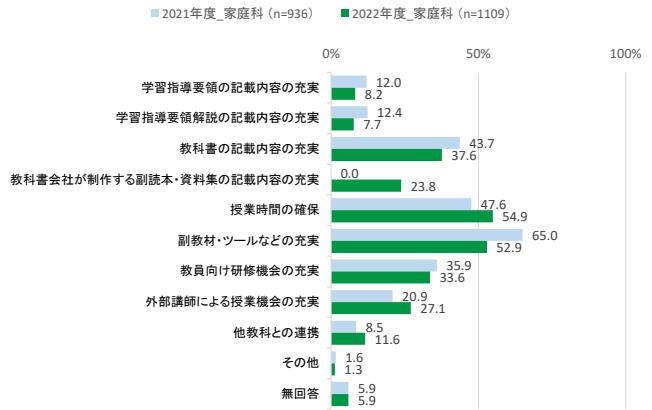
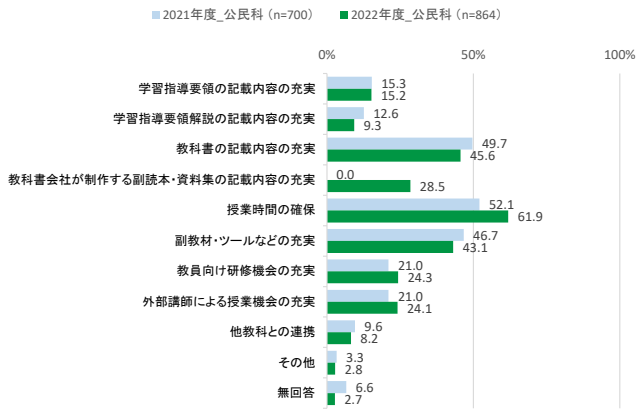
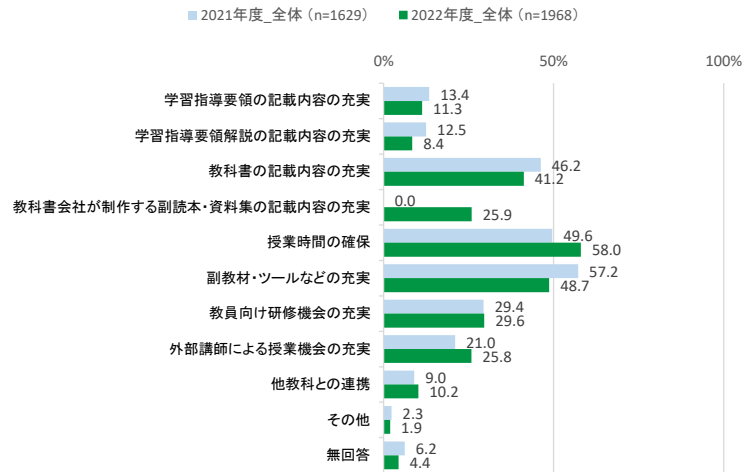
問 9-3. 損害保険に関する教育について、今後必要だと考える授業の内容についてお聞かせください。



問 9-4. 損害保険に関する教育が必要ではないと考える理由をお聞かせください。

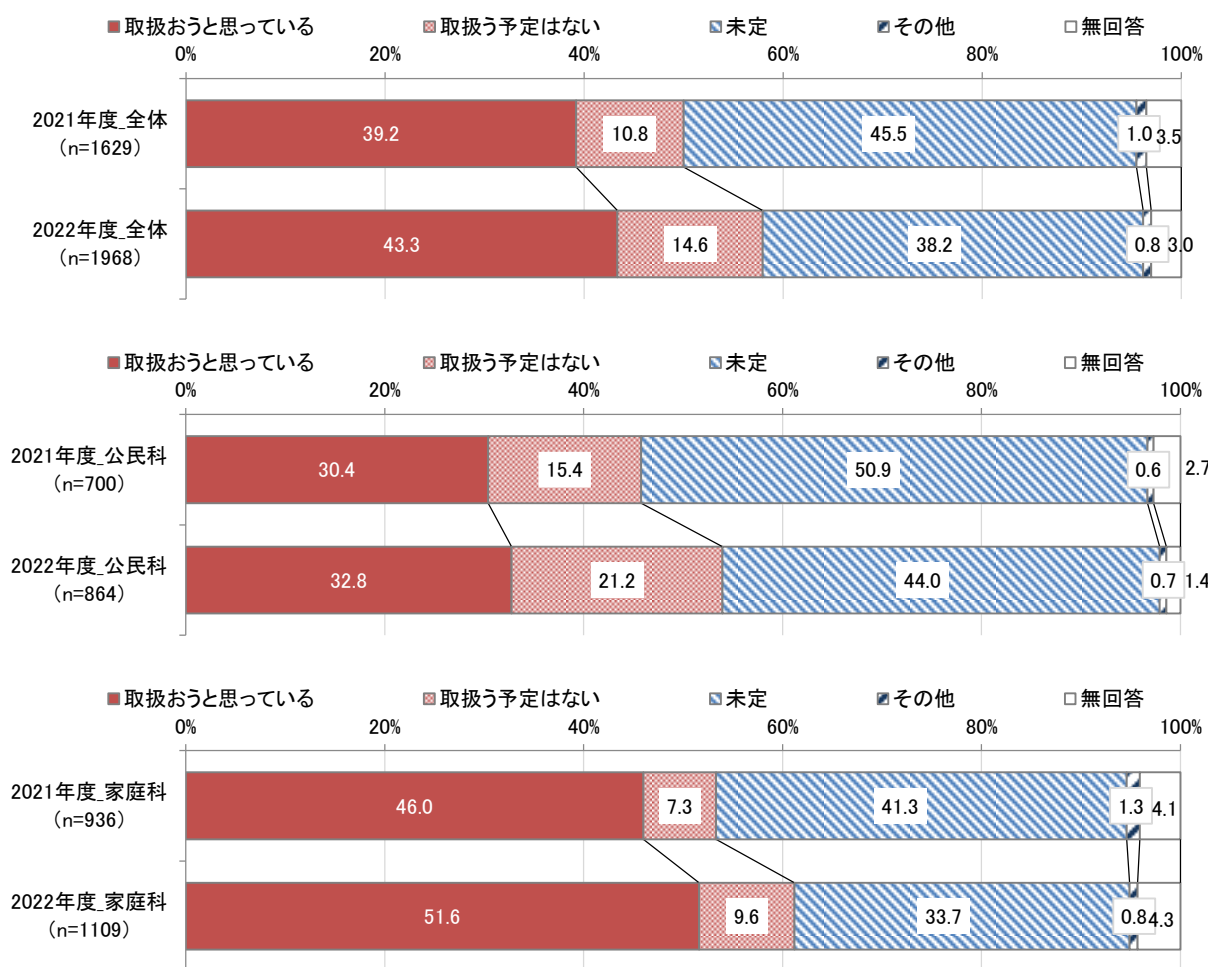


問 10. 今後、損害保険に関する教育を授業で実施するには、どのような取組みが重要だとお考えですか。

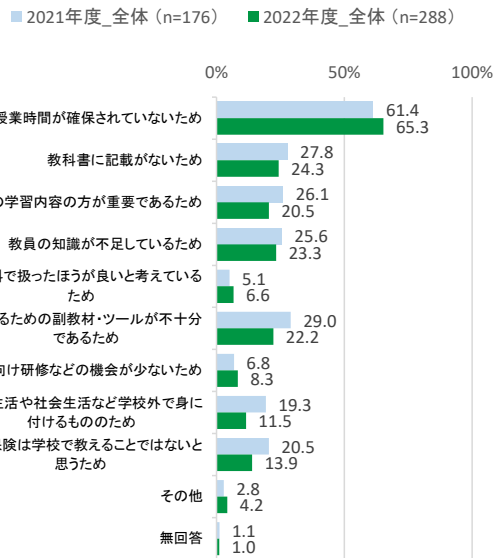


※「教科書会社が制作する副読本・資料集に記載内容の充実」は、2022年度の調査のみの選択肢である。

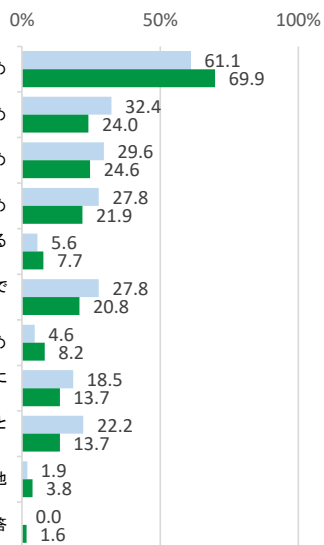
問 11. 公民科および家庭科の学習指導要領解説(平成 30 年告示)では、生活上のリスクに備える観点などから、「民間保険」に触れることが示されましたが、次年度以降、民間保険を授業で取扱う予定はありますか。



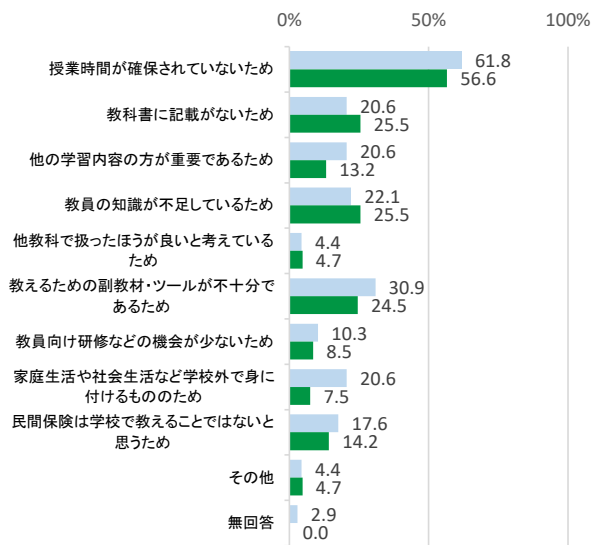
問 11-1. 取扱う予定がない理由をお聞かせください。



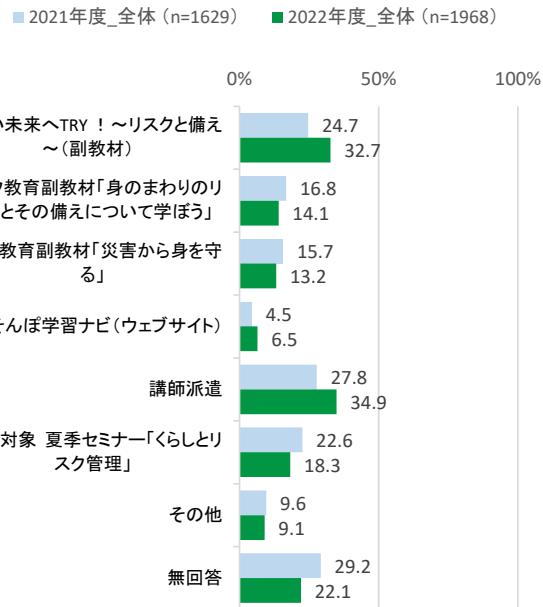
■ 2021年度_公民科 (n=108) ■ 2022年度_公民科 (n=183)



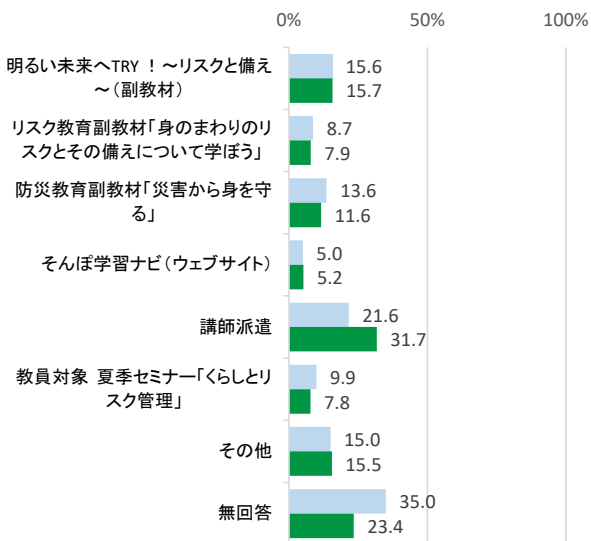
■ 2021年度_家庭科 (n=68) ■ 2022年度_家庭科 (n=106)



問 13. 日本損害保険協会は、「副教材・ツール提供」「講師派遣」「教員向けセミナー」に取り組んでいます。
以下の中でご存じのものがあればご回答ください。



■ 2021年度_公民科 (n=700) ■ 2022年度_公民科 (n=864)



■ 2021年度_家庭科 (n=936) ■ 2022年度_家庭科 (n=1109)

